ボイストレック

DS-71
DS-61
DS-51

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

● 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

● 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

● 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。

● 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

□ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しくお使いください。

□ 商標について

ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。

IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの登録商標です。

MP3オーディオ符号化技術はFraunhofer IIS社とThomson社からのライセンスに基づき製品化されています。

日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用し製品化されています。

EUPHONY MOBILE™ は、DiMAGIC(ダイマジック社)の商標です。

DVM™ は、DiMAGIC(ダイマジック社)の商標です。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

STEREO
OLYMPUS
フォルダ/
A-B
リスト/
インデックス
表示/
Podcast
OK
MENU
消去
音量
Voice-Trek

目次

6 メニューについて

7 本機をパソコンでお使いいただくためには

8 パソコン上でファイルを管理する

9 DSS Player の拡張機能

10 コンテンツを取り込んで楽しむ

11 その他の活用方法

12 資料

安全に正しくお使いいただくために

**ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。**

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告

本機で指定されてない電池を使わないでください。

火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。

② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

放置すると火災や火傷の原因となります。

AC アダプタについて

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

プラグ先端の⊕、⊖をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。

落下や損傷により内部が露出したら、
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガの恐れがあります。
② 感電、火傷、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠注意

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
感電の原因となります。

表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差込が不完全なまま使用しないでください。

使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないでください。
- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。

火災や感電の原因となります。

本機について

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児､子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児､子供の近くで使用するときは細心の注意を払い､不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし､加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
— 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け､窒息する。
— 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院などで使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか､その場所の指示にしたがってください。

ソフトウェアについて

⚠警告

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで再生しないでください。
スピーカやヘッドホンを破損したり､聴力低下を引き起こす恐れがあります。

使用上のご注意

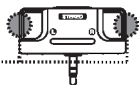
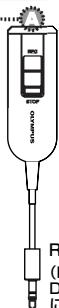
- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

<データ消失に関する注意事項>

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MOなどのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。

本製品は故障,当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

Plus 本書内で左記アイコン記述のある場合、DSS Player Plus へのアップグレードが必要です。アップグレードに関しましてはP127をご覧ください。

こんな使いかたができます

A

専用ステレオマイク(同梱)を接続すれば、リモコンステレオマイクとして使えます。
☞ P24

A B

用途に合わせて別売の外部マイクをご利用ください。
☞ P39

B

専用リモコンを接続すれば、本機のリモコンとして、録音・停止の操作ができます。
☞ P24

B

専用ステレオマイク(同梱)を接続すれば、ステレオ録音ができます。
☞ P23

B

別売のコネクティングコードを使うことで、本機の音声を他の機器にダビングできます。
☞ P41

C

専用ステレオマイクを外しても、内蔵モノラルマイクによる録音が可能です。
☞ P23

D

ステレオイヤホンを接続して、音声や音楽を楽しめます。
☞ P49

E

DSS Player(同梱)をインストールしたパソコンと本機をUSBケーブル(同梱)でつなぐと、パソコンでファイルの管理ができます ☞ P104。このほか、音楽・語学学習CDのリッピングや、インターネットからダウンロードしたファイルを本機で再生できます。さらに市販の音声認識ソフトを使えば、本機で録音したファイルを文字に変換できます。

F

Podcast配信された番組やコンテンツを簡単に探せます。
☞ P21

G

単4形アルカリ乾電池2本(同梱)やニッケル水素充電池2本(別売)のご使用が可能です。
☞ P14

主な特長

本商品は以下のような特長を備えております。

● 会議・ビジネス場面での音声録音、語学学習･Podcastなどのコンテンツ再生に最適な「IC レコーダー」です。
録音した音声は高能率圧縮でデジタル変換し、WMA(Windows Media Audio)形式のファイルとして記録します。(☞ P22)
また、WMA、MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式のファイルが再生できます。(☞ P46､139)

● CD レベルと同等の音質で記録できるリニアPCM形式に対応｡さまざまな音源を､リアルに録音できます。(DS-71のみ)
音楽ＣＤ と同等の高サンプリングレート、ビット数（44.1kHz、16bit）での高解像度録音が可能です。

● ステレオ XQ（ステレオ超高音質録音)、ステレオ HQ（ステレオ高音質録音)、ステレオ SP（ステレオ標準録音）によるステレオ録音モードと､HQ(高音質録音)､SP（標準録音)､LP（長時間録音）の３種類のモノラル録音モードが選択できます。(☞ P32)

● 録音レベルを自動または手動で調整することができます｡(DS-71 のみ)（☞ P33)

● 専用リモコン(DS-71、DS-61 に同梱)を本機に接続して録音・停止の操作ができます。(☞ P24)

● 着脱可能なステレオマイクを採用しています。(☞ P23)
  - 再生時に不要なステレオマイク部分を取り外せるので、携帯性に優れています。
  - 取り外したステレオマイクを専用リモコンに取り付ければ、リモコンステレオマイクとして活用できます。
  - ステレオマイクを取り外しても、内蔵モノラルマイクによる録音ができます。

● USBストレージクラス対応なので、パソコンの外部メモリとして､パソコンからデータの保存や読み出しができます｡(☞ P154)
  - パソコンと USB 接続し、画像ファイルやテキストなどを保存できるので、データの持ち運びにもご使用いただけます。

● 操作状況を音声でお知らせする音声ガイド機能（日本語・英語対応）を搭載。多彩な機能も操作の複雑化を感じさせません。(☞ P95)

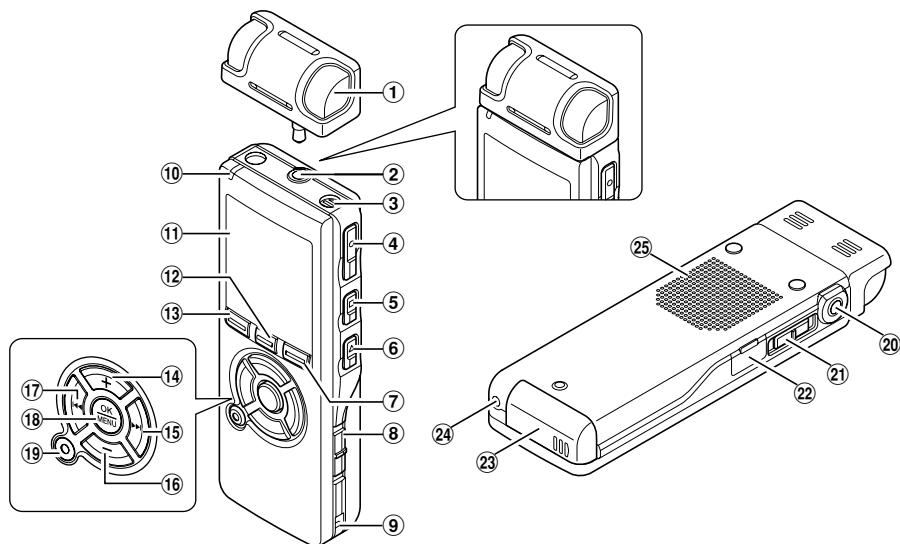
● オリジナルのフォルダ名が入力できます。(☞ P78､122)

● 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA）機能を搭載しています。(☞ P28)

● タイマー録音やアラーム再生機能を搭載しているので、設定した時間に録音や再生を自動的に行えます。(☞ P42､66)

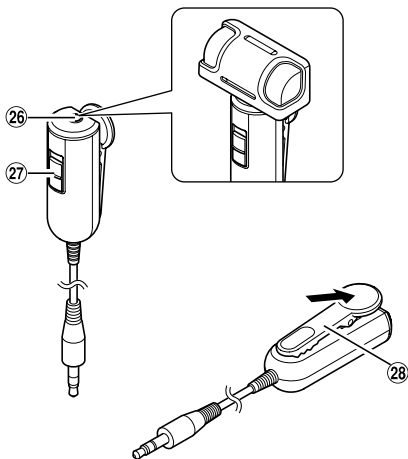
1
主な特長

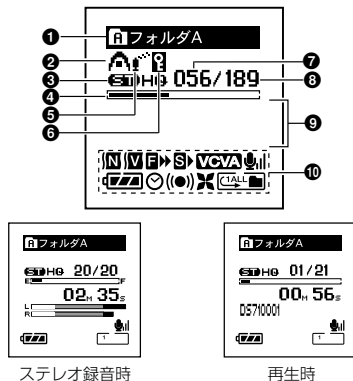
- 拡がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、専用マイク一つでの切り替えを可能とした、指向性マイク機能を搭載しています。（☞ P36）
- エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズをカットして録音するローカットフィルタを搭載しています。（☞ P38）
- インデックスマークやテンプマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます。（☞ P74）
- 再生スピードをお好みに合わせて調節できます。（☞ P53）
- 聞きたいファイルを探す時に便利なイントロ再生機能を搭載しています。（☞ P70）
- ノイズをカットして、音声をクリアに再生できるノイズキャンセル機能（☞ P60）と、音声フィルタ機能（☞ P62）を搭載しています。
- 音質劣化がなく自然な臨場感を作り出すEUPHONY　MOBILEを搭載しています。（☞ P64）
- 設定した間隔で、早送りや早戻しができます。（☞ P51）
- 専用ソフトウェアの「DSS Player」を付属しています。（☞ P104）
  - 本機で録音した音声ファイルをパソコンに転送すれば、再生や整理、編集などが簡単に行えます。
  - パソコンにつないでUSBマイクやUSBスピーカとしてもご使用になれます。（☞ P125）
- 「DSS Player」はより高い機能を備えた「DSS Player Plus」にアップグレード（有償）することが可能です。（☞ P127）
  - 市販の音声認識ソフトを利用すれば、録音した音声ファイルを文字に自動変換できます。（☞ P129）
  - 「DSS Player」の機能に加え、ファイルの結合や分割、本機のメニュー設定の変更などが行えます。
- Podcast（ポッドキャスティング）配信に対応。（☞ P146）
  - DSS Playerにお好みのネットラジオ局のURLを登録しておけば、最新の放送内容を自動的に受信してくれます。本機のPodcastボタンを押せば、DSS Playerから本機に転送した番組（ファイル）をすばやく聴くことができます。

各部のなまえ

① 専用ステレオマイク(ME55S)
② マイク / リモート ジャック
③ 内蔵マイク
④ 録音ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 再生ボタン
⑦ 表示 /Podcast ボタン
⑧ 電源 / ホールド スイッチ
⑨ ストラップ取り付け部
⑩ 録音 / 再生表示 ランプ(LED)
⑪ ディスプレイ(液晶表示パネル)
⑫ リスト / インデックス ボタン
⑬ フォルダ /A-B ボタン
⑭ 音量(+)ボタン
⑮ ▶▶I ボタン
⑯ 音量(−)ボタン
⑰ I◀◀ ボタン
⑱ OK/MENU ボタン
⑲ 消去ボタン
⑳ イヤホンジャック
㉑ マイク感度スイッチ
㉒ USB 端子
㉓ 電池ぶた
㉔ 電源ジャック
㉕ 内蔵スピーカ

リモコン -RS29-

(DS-71、DS-61 に同梱)

本機に接続して録音・停止の操作ができます。専用ステレオマイク(ME55S)を接続することで、リモコンステレオマイクとしてお使いいただけます。

㉖ マイクジャック
㉗ スライド(REC/STOP)スイッチ
㉘ クリップ
- 矢印部分を押してご使用ください。
- クリップは無理に広げないようにしてください。破損する恐れがあります。

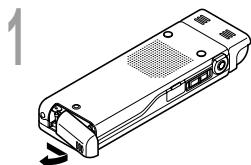
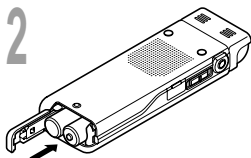
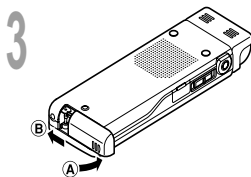
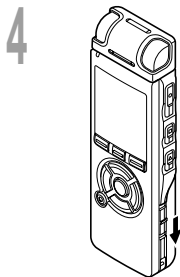
ディスプレイ

ステレオ録音時

再生時

❶ フォルダ表示
❷ EUPHONY表示
❸ 録音モード表示
❹ 再生位置バー表示
❺ 指向性マイク表示
❻ 消去ロック表示
❼ ファイル番号
❽ フォルダ内の総ファイル数
❾ 情報、警告表示部
❿ アイコン表示部
- N ノイズキャンセル表示
- V 音声フィルタ表示
- F 早聞き再生表示
- S 遅聞き再生表示
- VCVA 音声起動録音(VCVA)表示
- マイク感度表示
- 電池残量表示
- タイマー表示
- アラーム表示
- ローカットフィルタ表示
- 再生モード表示

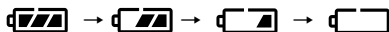
1

各部のなまえ

電池を入れる

1
2
3
4
1 電池ぶたを上から軽く押しながら、スライドさせて開ける

2 単4形電池の⊕と⊖を正しい向きで入れる

3 電池ぶたをⒶの方向に押さえながら閉じて、Ⓑの方向にスライドさせ、電池ぶたを完全に閉める

4 電源/ホールドスイッチを矢印の方向にスライドさせ、電源を入れる

ディスプレイの「時」表示が点滅表示する場合は、「日付・時刻(Time & Date)を合わせる」をご参照ください(☞ P18)。

電池を交換するめやす

電池の残量に応じてディスプレイの電池残量表示が次のようにかわります。

ディスプレイに マークが表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。
電池がなくなると、 と「電池を交換してください」が表示され、動作が停止します。交換の際は単4形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池（☞ P15）のご使用をおすすめします。

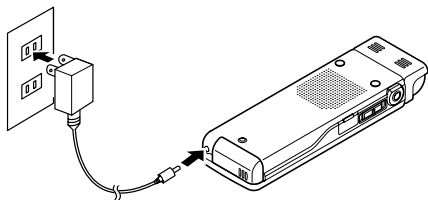
ニッケル水素充電池

本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください(☞ P158)。

ご注意

- 電池の交換は必ず本機を停止状態(☞ P159)にしてから行ってください。
  本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる恐れがあります。
- 1分以上電池を抜いたときは、再び電池を入れた際に時刻の設定が必要になることがあります(☞ P18)。
- 長期間本機をご使用にならない場合は、電池を取り外してください。

ACアダプタを使用する

ACアダプタA324(別売)を家庭用電源のコンセントに差し込み、プラグを本機の電源ジャック(DC3V)に接続します。ACアダプタのプラグは、必ず本機を停止状態にしてから差し込んでください。電池で録音中にACアダプタのプラグを差し込むと、録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

⚠ 警告

極性の違うものや出力電圧が3V以外のACアダプタは、絶対に使用しないでください。

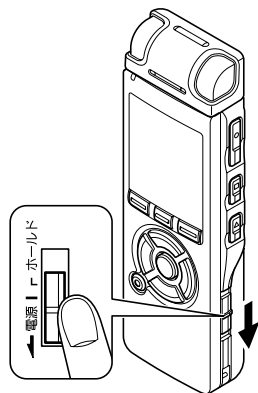
ACアダプタA324は日本国内専用です。外国では使用しないでください。

ACアダプタは誤った使い方をすると破損したり、火災や感電の原因になりますので、必ず専用のACアダプタA324を使用してください。

ACアダプタは、本機を停止状態にしてから取り外してください。

ACアダプタをお使いになったあとは必ずコンセントから抜いてください。

電源について

本機をお使いにならないときは、電源を切ることで、電池の消耗を最小限に抑えることができます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

本機の電源がOFFの状態で電源/ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる

ディスプレイが点灯し、「システムチェック」を表示後、電源がONの状態になります。レジューム機能により電源を切る前に記憶した停止位置に復帰します。

電源を切る

電源/ホールドスイッチを、矢印の方向へ0.5秒以上スライドさせる

ディスプレイが消灯し、電源がOFFの状態になります。
レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

スリープモード(Power Save)について

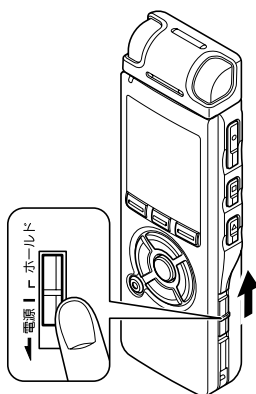
電源を入れて停止状態のまま10分以上（初期設定）経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります。また、スリープモードへの移行時間は「5分」「10分」「30分」「1時間」「OFF」の中から選んで設定できます（☞ P85）。
スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する－ホールド機能

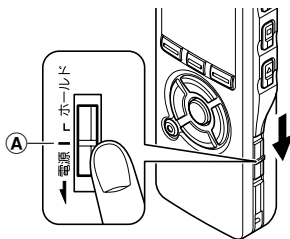
電源/ホールドスイッチをホールドの位置にすると現在の状態を保ち、ボタンやスイッチ操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。

ホールドにする

電源/ホールドスイッチをHOLDの位置にスライドさせる

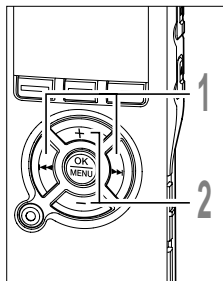
ディスプレイに「ホールド」が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する

電源/ホールドスイッチをⒶの位置にスライドさせる

ご注意

- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点灯しますが、動作しません。
- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります。）
- 本機がホールド状態でも接続された専用リモコン（DS-71、DS-61 に同梱）での操作は有効です。

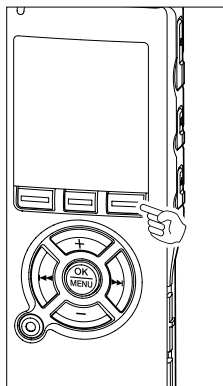
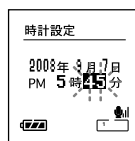
日付・時刻（Time & Date）を合わせる

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。

ご購入後初めてお使いになるときや、電池交換などで1分以上電池を抜いた後に電源を入れると「時計を設定してください」と表示されることがあります。「時」表示が点滅したら、次の手順から設定を行ってください。

1 ▶▶❙または❙◀◀ボタンを押して設定項目を選ぶ

「時」「分」「年」「月」「日」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

2 ＋または－ボタンを押して設定する

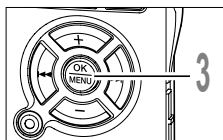
以下同じように▶▶❙または❙◀◀ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して、設定を行います。

- 時、分の設定中、表示ボタンを押すたびに、12時間表示と24時間表示が切り替わります。

（例）午後５時45分の場合

PM5時45分 ↔ 17時45分
<初期設定>

- 年、月、日の設定中、表示ボタンを押すたびに「年」「月」「日」表示の順序が切り替わります。

（例）2008年９月７日の場合

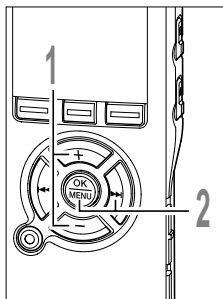
2008年９月７日
<初期設定>
↓
９月７日2008年
↓
７日９月2008年

3 OKボタンを押して設定を完了する

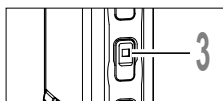
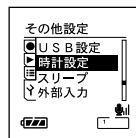
設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて OK ボタンを押してください。

ご注意

- 設定の途中にOKボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 設定後、「音声ガイドが必要ない場合は、OFF を選択してください」とアナウンスが流れ、音声ガイド設定(☞ P95)に移行します。音声ガイドが不要なときは、「OFF」を選択してください。

日付・時刻の設定をかえるには

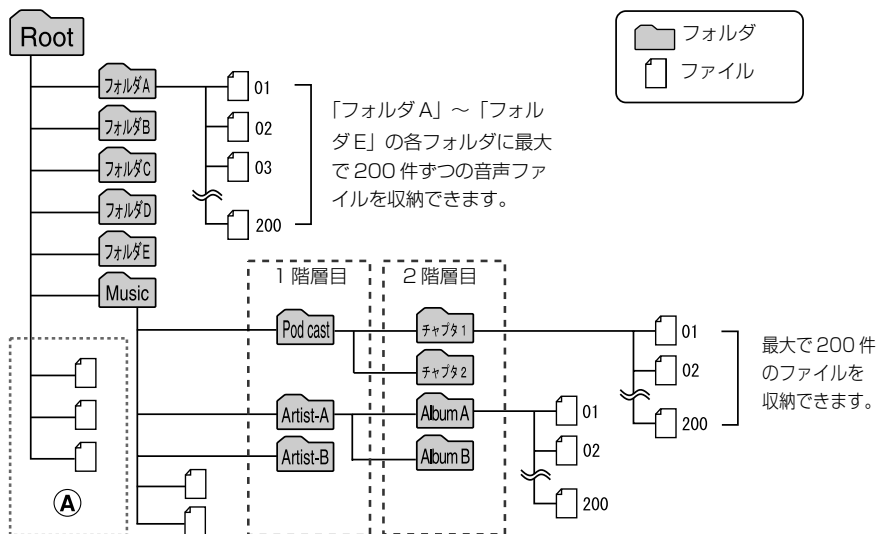
本機が停止中に停止ボタンを押すと、「現在日時」と「メモリ残量」を確認できます。現在日時が合っていない場合は、下記の手順で設定してください。

1 メニュー画面で+または−ボタンを押して「時計設定」を選ぶ

メニューについては(☞ P99、101)をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「時」表示が点滅し、日付・時刻の設定を始めます。以下は「日付・時刻を合わせる」の手順 1 から手順 3 の設定と同じです(☞ P18)。

3 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

フォルダについて

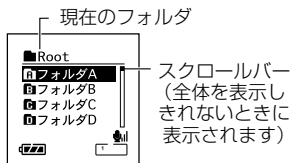
本機のフォルダは全部で７つあり、ツリー型に構成されています。「Root」フォルダの下には「フォルダA」～「フォルダE」フォルダと「Music」フォルダがあり、録音した音声やパソコンから転送した語学・音楽などを「ファイル」として保存することができます。「フォルダA」～「フォルダE」フォルダは音声録音用フォルダで、本機で録音を行う場合は、この5つのフォルダのいずれかを選んで行ってください。各フォルダにつき最大200ファイルまで収納でき、「Music」フォルダ内には２階層までフォルダを作成できます。また、「Music」フォルダ内にはポッドキャスティング配信（☞ P146）されたファイルが保存される「Podcast」フォルダがあらかじめ用意されています。

ご注意

- 「Music」フォルダには、「Music」「Podcast」を含めて最大128フォルダまで作成できます。
- Windows Media Player10の場合、同期オプションを設定せずに「同期の開始」を押すと、上図Ⓐのところにすべてのファイルが転送されます（☞ P144）。

フォルダとファイルの選択について

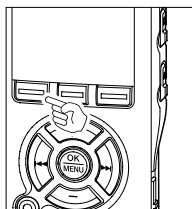
リスト表示画面

本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

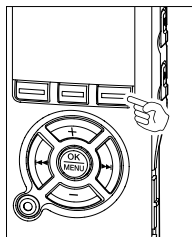
スクロールバー（全体を表示しきれないときに表示されます）

ファイル表示画面

選択したファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

タグ情報をもったファイル

ⓐ 現在のフォルダ
ⓑ ファイル名

フォルダボタンを押してフォルダを切り替える

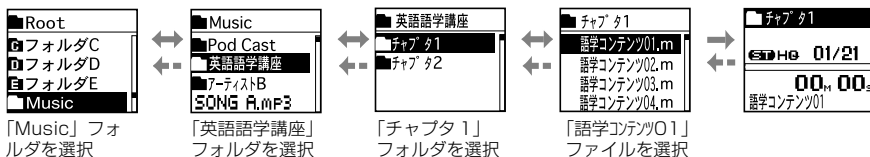
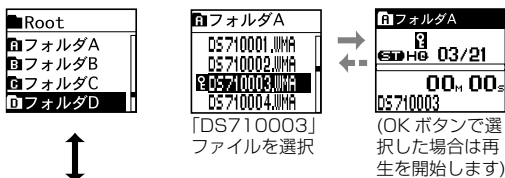
停止中に**フォルダ**ボタンを押す

➥ フォルダボタンを押すたびに「フォルダA」～「フォルダE」、「Music」フォルダが切り替わり、フォルダ内に記録されているファイルとフォルダがリスト表示されます。

Podcastフォルダを開く

停止中に**Podcast**ボタンを1秒以上押す

➥「Music」フォルダ内に用意されている「Podcast」フォルダを開くと、フォルダ内に記録されているファイルとフォルダがリスト表示されます。「Podcast」については☞ P146をご覧ください。

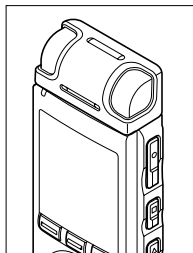
選択のしかた

フォルダボタンやPodcastボタンを使わなくても、目的のフォルダやファイルを選択することができます。

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

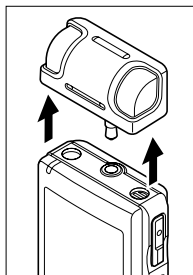
DS71 0001.WMA

- **拡張子：** 本機で録音したファイルはWMA形式またはリニアPCM形式で、拡張子が.WMAまたは.WAVとなります。
- **ファイル番号：** 本機が自動的につける連続した数字。
- **ユーザID：** 本機に設定されたファイル名で初期値はDS71、DS61またはDS51となります。ユーザIDは変更可能です（☞ P121）。

録音を始める前に

本機は専用ステレオマイクや内蔵モノラルマイク、専用リモコン(DS-71、DS-61に同梱)を使い分けることにより、さまざまな録音がお楽しみいただけます。
用途に応じた録音方法をお選びください。

専用ステレオマイクでステレオ録音する

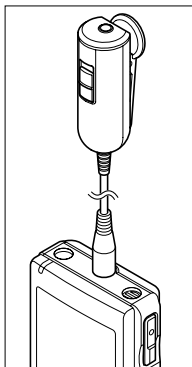
専用ステレオマイクを本機のマイク/リモートジャックに差し込むと、ステレオXQ、ステレオHQ、ステレオＳＰモードによるステレオ録音と、HQ、SP、LP モードによるモノラル録音ができます。DS-71 ではリニア PCM 形式での録音もできます。

本機のマイク/リモートジャックに専用ステレオマイクを接続する

内蔵マイクでモノラル録音する

専用ステレオマイクを取り外した状態でも、本機の内蔵マイクによる録音が可能です。

本機から専用ステレオマイクを取り外す

ご注意

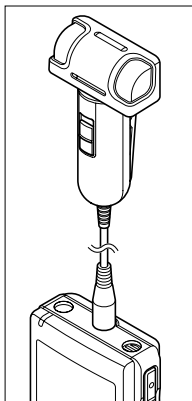
- ME55S は DS-71、DS-61、DS-51 専用のマイクとなります。
- DS-50、DS-40 用の外部マイク ME53S はご使用になれません。
- 専用ステレオマイクを取り外した状態でステレオ録音（PCM、ステレオ XQ、ステレオ HQ、ステレオ SP モード）すると、内蔵マイクでのモノラル録音となり、左チャンネル（Lch）と右チャンネル（Rch）の両方に同じ音声を録音します。
- マイクの抜き差しは本機を停止状態にしてから行ってください。

リモコンを使って操作する

専用リモコンを本機のマイク/リモートジャックに差し込むと、専用リモコンで本機の操作ができます。

本機のマイク/リモートジャックに専用リモコンを接続する

➥ 専用リモコンのREC/STOPスイッチを操作することで、本機の内蔵マイクでの録音（☞ P25）と停止を行います。

ご注意

- 専用リモコンの挿入時でも本機のボタン類は有効です。
- 本機がホールドの状態(☞ P17)でも専用リモコンのREC/STOPスイッチは有効です。
- 専用リモコンのスイッチをSTOPにして本機の録音ボタンを押すと、専用リモコンに挿入されたマイクで録音を行います。専用リモコンにマイクが差されていない場合は、何も録音されません。

リモコンステレオマイクとして使う

取り外した専用ステレオマイクを専用リモコンのマイクジャックに差し込むと、リモコンステレオマイクとしてご使用いただけます。

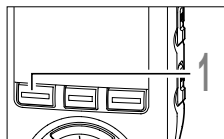
専用リモコンのマイクジャックに専用ステレオマイクを接続する

➥ 専用リモコンのREC/STOPスイッチを操作して、リモコンステレオマイクでの録音（☞ P25）と停止を行います。

ご注意

- 専用リモコンの挿入時でも本機のボタン類は有効です。
- 専用リモコンのスイッチをSTOPにして本機の録音ボタンを押すと、リモコンステレオマイクで録音を行います。

録音する

録音を始める前にA～Eの音声録音用フォルダを選んでください。Aフォルダはプライベート用、Bフォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。新しく録音した音声は、選択したフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

1 フォルダボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

フォルダボタンを押すたびにフォルダが切り替わります(☞ P21)。

ステレオ録音時
表示画面

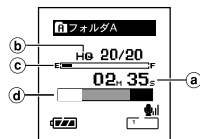
モノラル録音時
表示画面

2 録音ボタンを押して録音を開始する

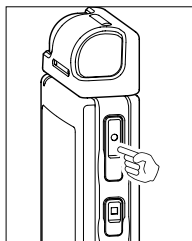
録音/再生表示ランプが赤く点灯し、録音を始めます。

録音したい方向にマイクを向けます。ディスプレイの表示は録音モード(☞ P31)により異なります。専用リモコンの接続時、専用リモコンのREC/STOPスイッチは、本機の録音ボタン、停止ボタンと同様の働きをします。

ⓐ **現在の録音経過時間**
ⓑ **現在の録音モード**
ⓒ **メモリ残量バー表示**
ⓓ **レベルメータ**（録音音量に合わせて変化します）

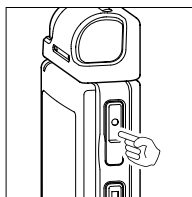
録音中に表示ボタンを押すたびに、ⓑの位置に録音経過時間と録音可能な残り時間を交互に表示します。

3 停止ボタンを押して録音を止める

ご注意

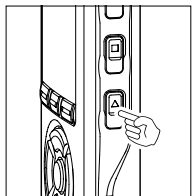
- A ～ E 以外のフォルダを選んで録音ボタンを押すと、「A～Eフォルダで録音してください」が点滅します。改めて A ～ E のいずれかのフォルダを選んでから録音を始めてください。
- 頭切れを防ぐために、録音/再生表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が60秒、30秒、10秒になったときに警告音が鳴ります。
- 録音可能な残り時間が60秒になると録音/再生表示ランプが点滅を始め、30秒、10秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ディスプレイに「メモリーがいっぱいです」や「これ以上記録できません」と表示されたときは、メモリやファイル件数がいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P71）。

一時停止するには

録音中に**録音**ボタンを押す。

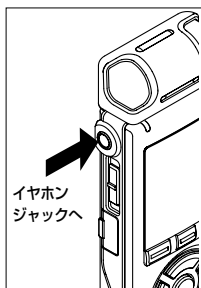
➡ ディスプレイの「録音ポーズ中」が点滅します。

- 録音一時停止のまま1分が過ぎると5秒間隔で一時停止中をお知らせするビープ音が鳴ります。
- 録音一時停止のまま120分以上過ぎると停止状態になります。

一時停止を解除するには

録音ボタンをもう一度押す。

➡ 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認するには

録音中に**再生**ボタンを押す。

➡ 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音中の音声を聞くときは（録音モニター）

イヤホンを本機のイヤホンジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は音量（＋）または音量（−）ボタンを押して調節できます。

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続する

➥ 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を0にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので､録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください｡

録音に関する設定

ご購入後すぐにステレオ録音ができるようにステレオXQモードが設定されていますが、ほかにもPCM（DS-71のみ）やステレオHQモード、ステレオSPモード、モノラル録音のHQ、SP、LPモードが設定できます。状況に応じた録音モードをお選びください。また本機は、メモリの節約ができる音声起動録音機能（VCVA）やマイク感度も設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

録音モード：　PCM（DS-71のみ）/ステレオXQ（ステレオ超高音質録音）モード/ステレオHQ（ステレオ高音質録音）モード/ステレオSP(ステレオ標準録音)モード/HQ（高音質録音）モード/SP（標準録音）モード/LP（長時間録音）モード（☞ P32）

録音レベル（DS-71のみ）：マニュアル/オート（☞ P33）
音声起動録音(VCVA)：OFF/ON/待機モニター/起動レベル（DS-71のみ）（☞ P28）
マイク感度：高感度/会議/口述（☞ P35）
指向性マイク：ZOOM/NARROW/WIDE/OFF（☞ P36）
ローカットフィルタ：OFF/ON（☞ P38）
タイマー録音：OFF/ON（☞ P42）
録音状況ごとの推奨設定：(☞ P39)

音声起動録音（VCVA）のしかた

音声起動録音（VCVA）とは、設定した起動感度よりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。
会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

1 停止または録音中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

2 ＋または－ボタンを押して「VCVA」を選ぶ

録音設定
●録音モード
▶録音レベル
VCVA
タイマー録音

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「VCVA」の設定を始めます。

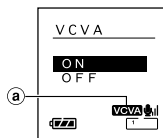
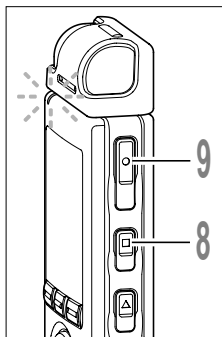
4 ＋または－ボタンを押して「ON/OFF」を選ぶ

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

6 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

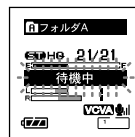
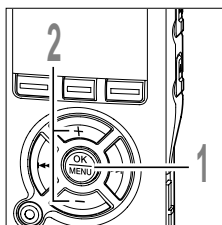
ON: 以降は音声起動録音になります。
OFF: 通常の録音に戻ります。
「ON」を選択するとディスプレイにVCVA表示が点灯します。
ⓐ VCVA表示

7 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

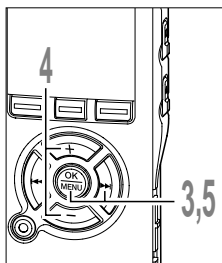
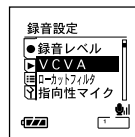
録音中にメニュー画面に入った場合は、I◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了してください。

9 録音ボタンを押して録音を開始する

設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音が一時停止します。このときディスプレイに「待機中」が点滅します。録音起動中は録音/再生表示ランプが赤く点灯し、一時停止すると点滅します。

VCVA 起動レベルを調整する（DS-71）

1 録音中または録音録音ポーズ中にMENUボタンを1秒以上押す

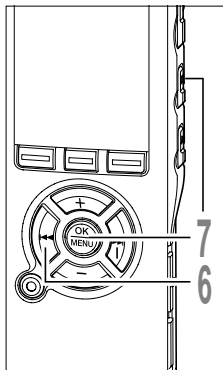
メニュー画面に入ります(☞ P101)。

2 ＋またはーボタンを押して「VCVA」を選ぶ

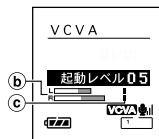
「VCVA」の設定を始めます。

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

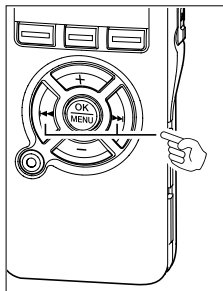
4 ＋またはーボタンを押して「起動レベル」を選ぶ

「起動レベル」の設定を始めます。

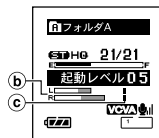
5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

6 ▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押して VCVAの起動レベルを調節する

ディスプレイにVCVA起動レベルが15段階（1～15）で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓑ **レベルメータ**（録音音量に合わせて変化します）
ⓒ **起動レベル**（設定レベルに応じて左右に動きます）

7 OKボタンを押して設定を完了し、I◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

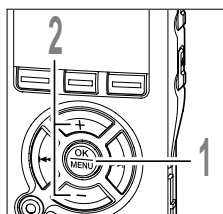
VCVA起動レベルを調整する（DS-61、DS-51）

録音中または録音録音ポーズ中に▶▶IまたはI◀◀ボタンを押してVCVAの起動レベルを調節する

ディスプレイにVCVA起動レベルが15段階（1～15）で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

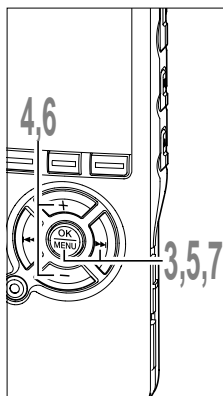
ⓑ **レベルメータ**（録音音量に合わせて変化します）
ⓒ **起動レベル**（設定レベルに応じて左右に動きます）

ご注意

- 起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P34）。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の起動感度を調節することができます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。

VCVA 待機モニター設定について

メニュー設定で「待機モニター」を「ON」にすると、VCVA待機中の間は録音モニター(イヤホン出力)が出なくなります。 イヤホンを接続して録音をモニターする場合、VCVAの起動状態が音声の出力で確認することができます。

1 停止または録音中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋または－ボタンを押して「VCVA」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

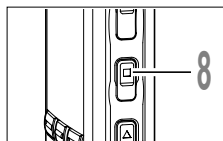
4 ＋または－ボタンを押して「待機モニター」を選ぶ

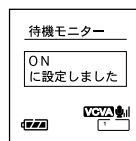
5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

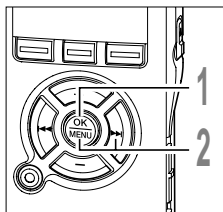
「待機モニター」の設定を始めます。

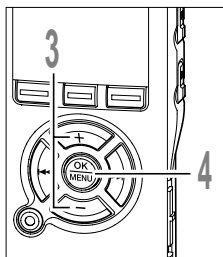
6 ＋または－ボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ

7 OKボタンを押して設定を完了する

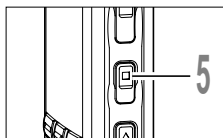
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

録音中にメニュー画面に入った場合は、I◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了してください。

録音モード(Rec Mode)をかえる

録音モードは、PCM(DS-71のみ)、ステレオXQ(ステレオ超高音質録音)、ステレオHQ(ステレオ高音質録音)、ステレオSP(ステレオ標準録音)、HQ(高音質録音)、SP(標準録音)、LP(長時間録音)から選ぶことができます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

ディスプレイに「録音モード」が表示されます(☞ P101)。

2 OKまたは▶▶|ボタンを押す

録音モードの設定を始めます。

3 +または−ボタンを押して「PCM」「ステレオXQ」「ステレオHQ」「ステレオSP」「HQ」「SP」「LP」から選ぶ

4 OKボタンを押して設定を完了する

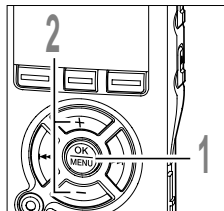
|◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

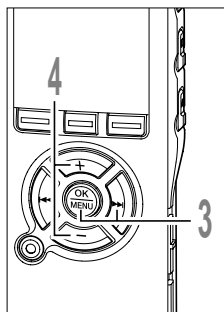
5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ 録音モード表示

停止中に停止ボタンを押すと、「メモリ残量」と設定した録音モードでの「録音可能な残り時間」を確認できます。

録音レベルの調整を設定する（Rec Level）（DS-71 のみ）

録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。

1 停止中または録音中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P101)。

2 ＋または－ボタンを押して「録音レベル」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

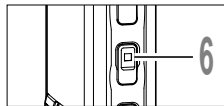
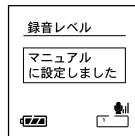
録音レベルの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「マニュアル」または「オート」を選ぶ

[マニュアル]:録音レベルを手動で調整して録音します。

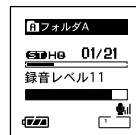
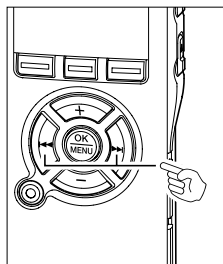
[オート]:録音レベルを自動で調整して録音します。すぐに録音するときに便利です。

5 OKボタンを押して設定を完了する

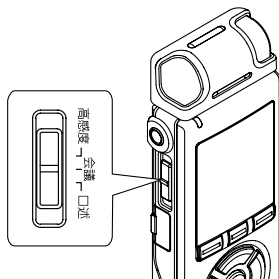
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

2

録音レベルの調整を設定する

録音レベルを調整する

録音中または録音停止中に▶▶Iまたは**I◀◀**
ボタンを押して録音レベルを調整する。

- 録音レベルが「オート」の場合、録音レベルは自動的に調整されます。録音レベル調整機能を使用する場合は、録音レベルは「マニュアル」にしてください。
- 録音レベルメーターの指標が右いっぱいに振り切れなくても「OVER」が表示されることがあります。
- 本機は「マニュアル」に設定するとリミッター機能がありません。「OVER」が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。「OVER」が表示されないよう録音レベルを調整してください。
- あまりにも大きな音を入力すると、録音レベルを「オート」に設定していてもノイズが発生することがあります。
- 「01」～「13」の範囲で調整できます。数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

マイク感度をかえる

使用目的に合わせてマイクの感度を切り替えることができます。

本機が停止中または録音中にマイク感度スイッチをスライドさせ、「高感度」「会議」「口述」からマイク感度を選ぶ

設定を切り替える度にディスプレイのマイク感度表示が切り替わります。

高感度( )：最も録音感度が高く、大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

会議( )：打合せや少人数の会議などの録音に適しています。

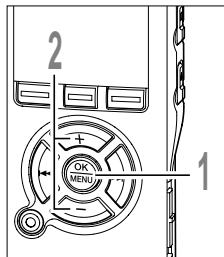
口述( )：最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

ⓐ マイク感度表示

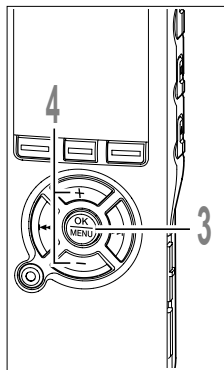
ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合は口述モードにしてください。息がマイクに直接かかるとノイズになりますので、マイクを話し手の口から少し下げた位置（5 から 10cm）で録音してください。
- 口述モードで録音しても、周囲の雑音が録音に影響する場合は、指向性マイク（☞ P36）を「ZOOM」「NARROW」に設定するか、口述録音用マイクロホン ME12（別売 ☞ P40）をご使用をください。

指向性マイク（Zoom Mic）

指向性マイク機能はDiMAGIC（ダイマジック社）のDVM（DiMAGIC Virtual Microphone）技術を使用しています。DVMは任意の方向からの音を強調して録音することが可能な収音システムです。拡がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、専用マイク一つでの切り替えを可能とした、最新の指向性制御方式です。

1 停止中または録音中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋または－ボタンを押して「指向性マイク」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

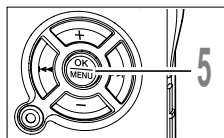
指向性マイクの設定を始めます。

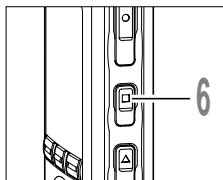
4 ＋または－ボタンを押して内蔵ステレオマイクの指向性を選ぶ

[ZOOM]:モノラル録音となりますが、高指向性の録音ができます。

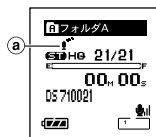
[NARROW]:指向性のあるステレオ感で録音できます。

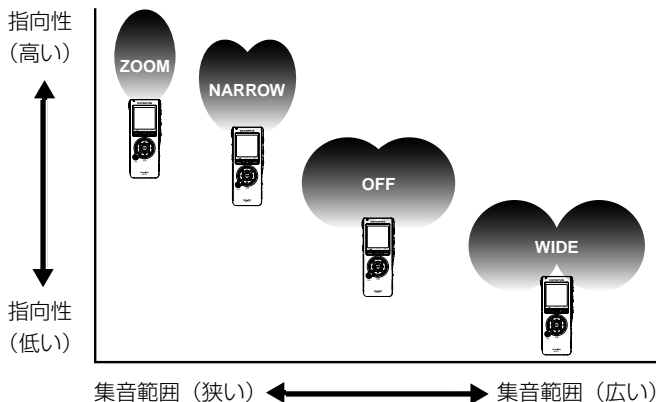
[WIDE]:広がりのあるステレオ感で録音できます。

[OFF]:機能しません。

5 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

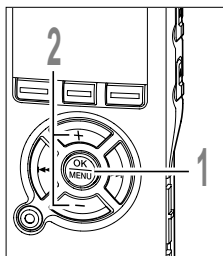
録音中にメニュー画面に入った場合は、⏮ボタンを押してメニュー画面を終了してください。

「ZOOM」「NARROW」または「WIDE」に設定すると、ディスプレイに🎤が表示されます。

ⓐ 指向性マイク表示

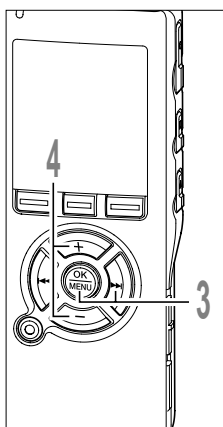
指向性マイク機能について

ご注意

- 指向性マイクレベルを「ZOOM」「NARROW」または「WIDE」にすると、その設定は「OFF」にするまで有効になります。
- 指向性マイク機能は付属の専用マイク（ME55S）でのみ性能がでるように設計されています。市販品のマイクを使った場合には正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。
- 指向性マイク機能は、内蔵のモノラルマイクではお使いになれません。

ローカットフィルタ(LowCut Filter)を設定する

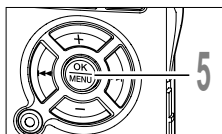
録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減することができます。

1 停止中または録音中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

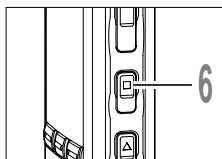
2 ＋または－ボタンを押して「ローカットフィルタ」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

ローカット フィルタの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ＯＮ」か「OFF」を選ぶ

「ON」:ローカットフィルタをかけます。
「OFF」:ローカットフィルタを解除します。
録音中にメニュー画面に入った場合、カーソルの動きに合わせてローカットフィルタが切り替わるので、録音モニター(☞ P27)で効果の確認ができます。
「ON」に設定すると、ディスプレイに✖が表示されます。

ⓐ ローカットフィルタ表示

5 OKボタンを押して設定を完了する

⏮◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

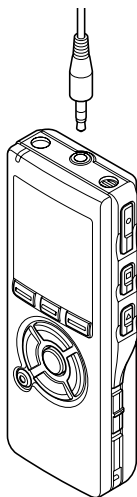
録音中にメニュー画面に入った場合は、⏮◀ボタンを押してメニュー画面を終了してください。

録音状況ごとの推奨設定（目安）

<table>
<tr><th rowspan="2">録音状況</th><th colspan="5">推奨設定</th></tr>
<tr><th>マイク</th><th>録音モード</th><th>マイク感度</th><th>ローカットフィルタ</th><th>指向性マイク</th></tr>
<tr><td>大人数での会議などの録音</td><td rowspan="5">専用ステレオマイク(ME55S)</td><td rowspan="5">音質重視で録音する、または録音時間重視で録音するなど、目的に合わせ録音モードが選べます。</td><td rowspan="2">高感度</td><td rowspan="4">ON</td><td rowspan="6">専用ステレオマイクの指向性を録音する音源に合わせて設定できます。</td></tr>
<tr><td>広い教室での講義などの録音</td></tr>
<tr><td>少人数での会議、打ち合わせ、商談などの録音</td><td>会議</td></tr>
<tr><td>ノイズが多い中での口述録音</td><td>口述</td></tr>
<tr><td>楽器演奏、野鳥の声、鉄道の音などの録音</td><td>*1</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>静かな環境での口述録音</td><td colspan="4">特に推奨はありません。
お好みの設定で録音してください。</td></tr>
</table>

*1: 録音する音量に合わせて、マイク感度を設定してください。

外部マイクや他の機器から録音する

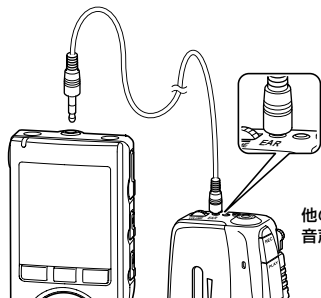
外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音することができます。お使いになる機器により、次のように接続してください。

外部マイクで録音する

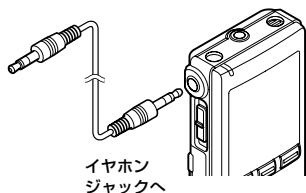
本機または本機に接続した専用リモコンのマイクジャックに外部マイクを接続する

本機のマイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。

ご使用いただける外部マイク(別売)

- **ステレオマイクロホン:ME51SW**
  大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。ステレオ録音はPCM(DS-71のみ)、ステレオXQモード、ステレオHQモードまたはステレオSPモード設定時のみ可能です。
- **高感度単一指向性モノラルマイクロホン:ME52**
  周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。
- **単一指向性モノラルマイクロホン:ME12 (口述録音用マイク)**
  周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。
- **モノラルタイピンマイク:ME15**
  タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。
- **モノラルテレホンピックアップ:TP7**
  イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

メニュー設定の外部入力(☞ P86)を「自動切替」に設定すると、挿入された外部マイクがステレオかモノラルかを自動的に判別し、録音モードに合った録音を行います。

他の機器の音声を本機で録音する

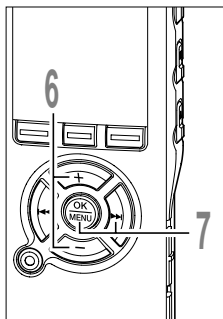
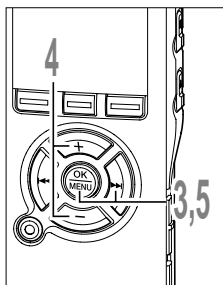
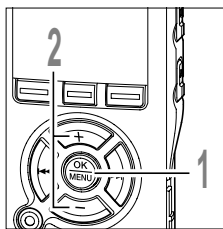
他の機器の音声出力端子(イヤホンジャック)と本機のマイクジャックをダビング用コネクティングコードでつなぐと、その音声を録音できます。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子(マイクジャック)と本機のイヤホンジャックをダビング用コネクティングコードでつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

ご注意

- 本機と他の機器の接続は別売のダビング用コネクティングコード (KA333) で行ってください (☞ P157)。
- 本機では細かい入力レベルの調節はできません。外部機器を接続するときは試し録音をして、外部機器の出力レベルを調節してください。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- 指向性マイク機能 (☞ P36)は付属の専用マイク (ME55S) でのみ性能がでるように設計されています。市販品のマイクを使った場合には正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。

タイマー録音（Timer Rec）を使う

タイマー録音とは設定した時間に録音を行う機能です。お好みの設定（ON/OFF、曜日、時刻、録音モード、録音フォルダ、マイク感度）を３件（予約１～3）まで登録しておくことができます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋またはーボタンを押して「タイマー録音」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

タイマー録音の設定を始めます。

4 ＋またはーボタンを押して予約番号を選ぶ

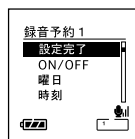
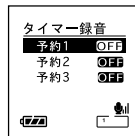
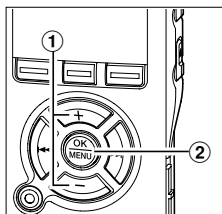
予約番号にカーソルを合わせて表示ボタンを押すと、設定されている「曜日」と「時刻」が表示されます。

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

6 ＋またはーボタンを押して設定項目を選ぶ

「ON/OFF」「曜日」「時刻」「録音モード」「録音フォルダ」「マイク感度」の中から、設定したい項目を選んでください。
「設定完了」を選ぶと設定を完了して、手順４の予約番号の選択表示に戻ります。

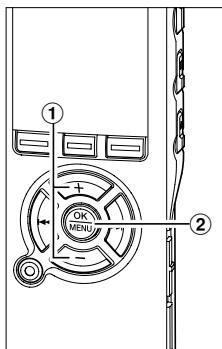
7 OKまたは▶▶Iボタンを押してそれぞれの設定に移る

各設定の手順については、☞ P43、44 をご覧ください。

「ON/OFF」の設定

① ＋または－ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。

「ON」：設定内容が実行されます。

「OFF」：設定内容は実行されません。

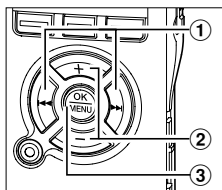
② OKボタンを押して「ON/OFF」を完了します。

「曜日」の設定

① ＋または－ボタンを押して「1回のみ」「毎日」「毎週」を選びます。

「1回のみ」：設定時刻で１回のみ録音します。

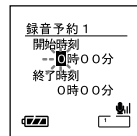
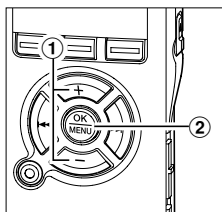
「毎日」：設定時刻で毎日継続して録音します。

「毎週」：指定した曜日の設定時刻に録音します。「毎週」を選んでOKまたは▶▶Iボタンを押すと「曜日」の選択に移ります。+または－ボタンを押して曜日を選んでください。

② OKボタンを押して「曜日」を完了します。

「時刻」の設定

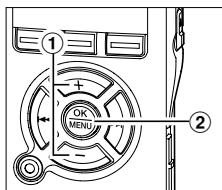
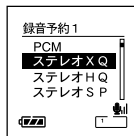
① ▶▶IまたはI◀◀ボタンを押して録音の開始時刻の「時」「分」と終了時刻の「時」「分」を選びます。

② ＋または－ボタンを押して設定します。

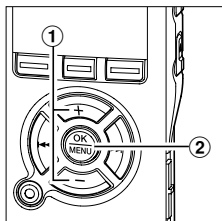
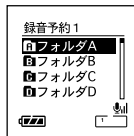
③ OKボタンを押して「時刻」を完了します。

「録音モード」の設定

通常の録音モード設定(☞ P32)とは関係なく、設定した録音モードでタイマー録音を開始します。

① ＋または−ボタンを押して録音モードを選びます。

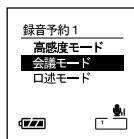
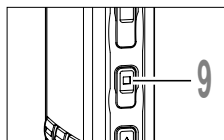
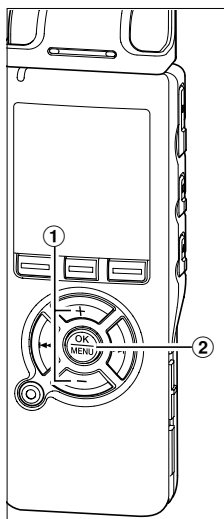
② OKボタンを押して「録音モード」を完了します。

「録音フォルダ」の設定

① ＋または−ボタンを押して録音するフォルダを選びます。

② OKボタンを押して「録音フォルダ」を完了します。

「マイク感度」の設定

本機のマイク感度設定(☞ P35)とは関係なく、設定したマイク感度でタイマー録音を開始します。

① ＋または−ボタンを押して「高感度」「会議」「口述」を選びます。

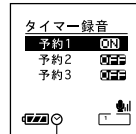
② OKボタンを押して「マイク感度」を完了します。

8 設定を完了する

① ＋または－ボタンを押して「設定完了」を選びます。

② OKボタンを押して設定を完了します。

登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。ON/OFF設定をONにすると、ディスプレイに ON と ⊙（タイマー表示）が表示されます。
OKボタンを押さずに⏮ボタンを押すと、それまで設定した内容はすべてキャンセルされ、予約選択メニューに戻ります。

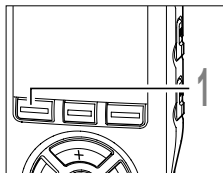
ⓐ **タイマー表示**

他の予約番号を設定する場合は、手順4～8の操作を繰り返してください。
予約選択メニュー中に表示ボタンを押すと、設定内容の確認ができます。

9 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

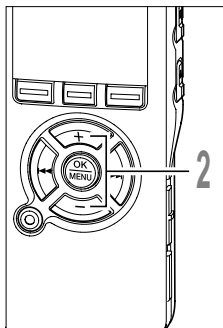
ご注意

- タイマー録音の開始時刻に本機を操作していたり、本機が動作中のときは、終了後にタイマー録音を開始します。
- 電源 OFF やホールドになっていても、タイマー録音の設定時刻になると録音を始めます。
- 開始時刻の設定が同じ場合の優先順位は、「予約 1」が一番高く、「予約 3」が一番低くなります。
- タイマー録音とアラーム再生（☞ P66）の開始時刻が同時刻に設定されているときは、タイマー録音が優先されます。
- タイマー録音中に電池がなくなると録音が中断しますので、電池残量を確認してください。
- タイマー録音時はマイク感度スイッチの設定は無効になります。
- あらかじめ「現在日時」を確認し、ずれていたら本機の日付と時刻を合わせてください（☞ P19）。

再生する

本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送したWAV（DS-71のみ）、MP3、WMA形式のファイルを再生できます。ミュージックプレーヤーとして、いつでもお楽しみいただけます。（☞ P119）。

1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

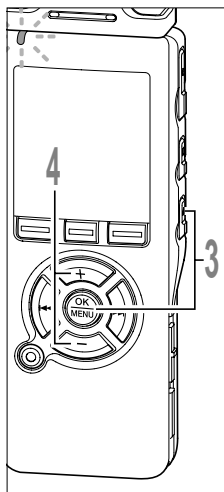
フォルダボタンを押すたびにフォルダが切り替わり、リスト表示画面が表示されます（☞ P21）。

リスト表示画面

2 ＋または－ボタンを押して再生したいファイルを選ぶ

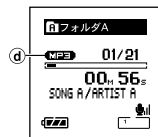
▶▶|ボタンを押すとファイル表示画面が開きます。

ファイル表示画面では、▶▶|または|◀◀ボタンを押してファイルを選びます。

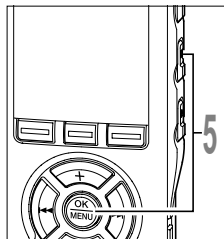
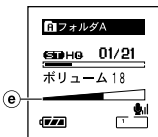
ファイル表示画面からリスト表示画面に戻る場合やリスト表示画面で一つ上の階層のリスト表示に戻る場合は、リストボタンを押します。

ファイル表示画面

3 再生またはOKボタンを押して再生を開始する

録音/再生表示ランプが緑色に点灯します。
本機以外の他の機器で作成されたファイルの場合、ディスプレイにファイル形式が表示されます。
MP3 ....MP3形式のファイル
WMA ....WMA形式のファイル

ⓐ 再生位置バー表示
ⓑ 再生中のファイルの経過時間
ⓒ 再生中のファイル名
ⓓ ファイル形式表示

4 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0〜30)で表示されます。

ⓔ ボリュームレベルメータ

5 停止またはOKボタンを押して再生を停止する

再生していたファイルの途中で停止します。
再生またはOKボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

ディスプレイの表示パターンをかえることができます（☞P89）。本書でのディスプレイ表示は初期の状態を示します。

ご注意

- 再生可能なファイルのビットレートは WMA 形式 5 〜 256kbps、MP3 形式 8 〜 256kbps です。
- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式（44.1kHz/16bit）のみ本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。（DS-71 のみ）
- 弊社製 Voice-Trek シリーズで作成した WMA ファイルは再生可能です。

早送りをするには

停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止します。再生またはOKボタンを押すと、その位置から再生します。

ⓐ **ファイルの長さ**

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P74）がついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止します。再生またはOKボタンを押すと、その位置から再生します。

ⓐ **ファイルの長さ**

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P74）がついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
- 先頭ファイルの開始位置で停止中に I◀◀ ボタンを押し続けると、最終ファイルの終わりから早戻しを行います。

ファイルの頭出しをするには

再生中、遅聞き、早聞き中に ▶▶| ボタンを押す。

➡ 次のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に |◀◀ ボタンを押す。

➡ 再生中のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に |◀◀ ボタンを 2 回押す。

➡ 1 つ前のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P74）がついているときは、その位置でいったん停止します。
- スキップ間隔がファイルスキップ以外に設定されている場合（☞ P51）、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を始めます。

イヤホンで聞くとき

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

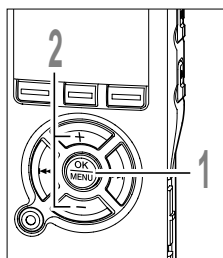
- 耳への刺激を避けるため、ボリュームレベルを0にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

再生に関する設定

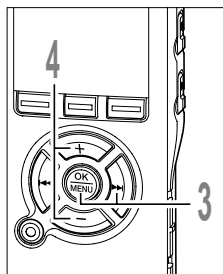
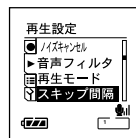
このほかにも本機では語学コンテンツの学習などに効果的にご利用いただける各種の再生機能を備えています。詳しくは下記のページを参照してください。

スキップ間隔： スキップ ....ファイルスキップ /10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /10 分
逆スキップ .....ファイルスキップ /1 秒 /2 秒 /3 秒 /4 秒 /5 秒 / 10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /10 分（☞ P51）
再生スピード： 遅聞き再生 .....0.875/0.75/0.625/0.5 倍速
早聞き再生 .....2.0/1.5/1.375/1.25/1.125 倍速（☞ P53）
再生モード： ファイル / ファイルリピート / フォルダ / フォルダリピート / 全ファイル / 全ファイルリピート（☞ P56）
部分リピート： 設定（☞ P58）
ノイズキャンセル： HIGH/LOW/OFF（☞ P60）
音声フィルタ： ON/OFF（☞ P62）
EUPHONY： OFF/POWER/WIDE/NATURAL（☞ P64）
イントロ再生： 3 秒 /5 秒 /10 秒 /OFF（☞ P70）

スキップ間隔（Skip Space）を設定する

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生することができる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 停止中または再生中にMENUボタンを1秒以上押す

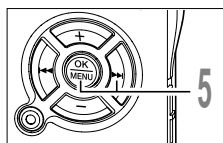
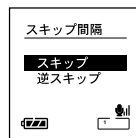
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

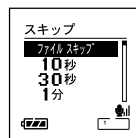
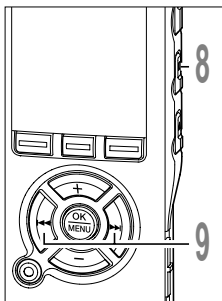
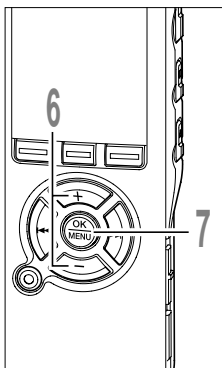
2 ＋または－ボタンを押して「スキップ間隔」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「スキップ間隔」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「スキップ」または「逆スキップ」を選ぶ

「スキップ」: 設定した間隔分だけ送って再生をはじめます。

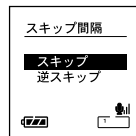
「逆スキップ」: 設定した間隔分だけ戻って再生をはじめます。

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

間隔の設定を始めます。

6 ＋または－ボタンを押して間隔を選ぶ

スキップ: ファイルスキップ/10秒/30秒/1分/5分/10分

「逆スキップ」: ファイルスキップ/1秒/2秒/3秒/4秒/5秒/10秒/30秒/1分/5分/10分

7 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。また、OKボタンを1秒以上押すと手順1のメニュー画面に戻ります。

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

再生中にメニュー画面に入った場合は、I◀◀ボタン押してメニュー画面を終了してください。

9 ファイルを再生中に▶▶IまたはI◀◀ボタンを押す

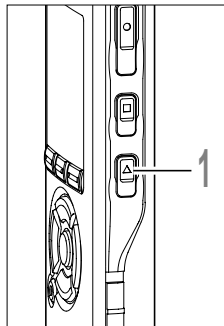
設定した間隔をスキップ(送る)または逆スキップ(戻る)して再生を始めます。

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク/テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ / 逆スキップします。

再生スピード(Play Speed)をかえる

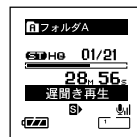
再生スピードを0.5倍速から2倍速の間で変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取ることができます。

再生スピードを変更する

1 再生中に再生ボタンを押す

再生ボタンを押すたびに再生スピードが切り替わります。

「通常再生」: 通常の再生スピードです。

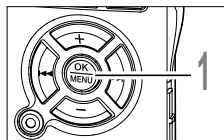
「遅聞き再生」: 再生スピードが遅くなり、S▶が点灯します。(初期設定は0.75倍速)

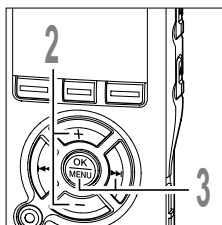
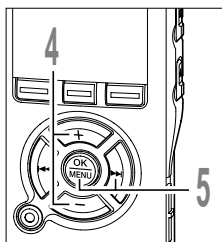
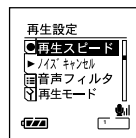
「早聞き再生」: 再生スピードが速くなり、F▶▶が点灯します。(初期設定は1.5倍速)

再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持します。次回の再生では変更した速さで再生を行います。

3

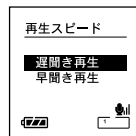
再生スピードをかえる

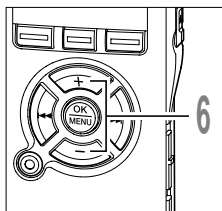
再生スピードの設定を変更する

「遅聞き再生」・「早聞き再生」の再生スピードの設定を変更できます。

1 停止中または再生中にMENUボタンを1秒以上押す

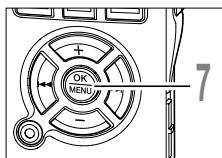
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 +または−ボタンを押して「再生スピード」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

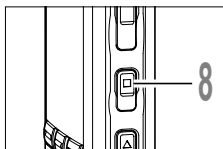
再生スピードの設定を始めます。

4 +または−ボタンを押して「遅聞き再生」か「早聞き再生」を選ぶ

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「遅聞き再生」・「早聞き再生」それぞれの設定を始めます。

6 +または−ボタンを押して設定したい再生スピードを選ぶ

「遅聞き再生」: 0.5、0.625、0.75、0.875
「早聞き再生」: 1.125、1.25、1.375、1.5、2.0

再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルの動きに合わせて再生スピードも変化します。

7 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。また、OKボタンを1秒以上押すと手順1のメニュー画面に戻ります。

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

再生中にメニュー画面に入った場合は、⏮ ボタン押してメニュー画面を終了してください。

早聞き･遅聞き再生のときも通常再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク(☞ P74)の挿入などの操作ができます。

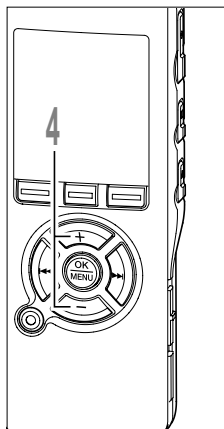
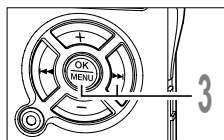
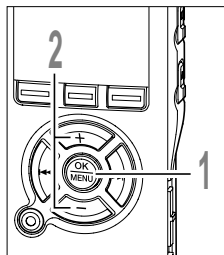
再生スピードの２倍速における制限事項について

再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートによっては、2倍速の早聞き再生に対応しないことがあります。その場合 1.5 倍速までの早聞き再生となります。

ご注意

- 音声フィルタ（☞ P62）の設定中も遅聞き・早聞き再生をご使用になれます。
- ノイズキャンセル（☞ P60）の設定中は、遅聞き・早聞き再生はできません。
- EUPHONY 機能（☞ P64）を設定中は、遅聞き・早聞き再生はできません。
- 遅聞き・早聞き再生中は、ステレオ録音（PCM、ステレオ XQ、ステレオ HQ、ステレオ SP）されたファイルでもモノラル再生されます。

再生モード（Play Mode）を選ぶ

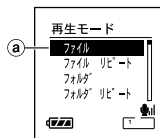
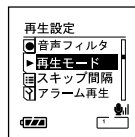
6 種類の再生モードを設定することができます。ファイル単位、フォルダ単位で再生するか、本機にある全ファイルを再生するかをお選びいただけます。

1 停止中または再生中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

2 ＋または－ボタンを押して「再生モード」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「再生モード」の設定を始めます。

ⓐ 現在の再生モード

4 ＋または－ボタンを押して設定したい再生モードを選ぶ

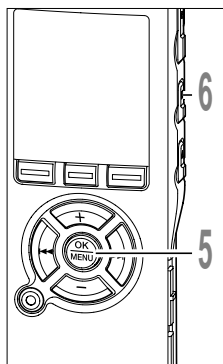
「ファイル（ ）」：現在のファイルを再生後に停止。

「ファイルリピート（ ）」：現在のファイルを繰り返して再生。

「フォルダ（ ）」：現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止。

「フォルダリピート（ ）」：現在のフォルダ内の全ファイルを繰り返し連続再生。

「全ファイル（ALL）」：本機内の全ファイルを連続再生して停止。

「全ファイルリピート（ALL）」：本機内の全ファイルを繰り返し連続再生。

3

再生モードを選ぶ

5 OKボタンを押して設定を完了する

⏮ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

再生中にメニュー画面に入った場合は、⏮ボタン押してメニュー画面を終了してください。

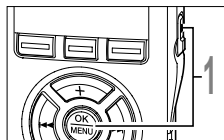
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

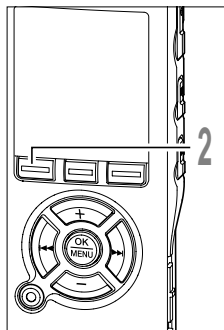
ⓑ 設定した再生モード表示

ご注意

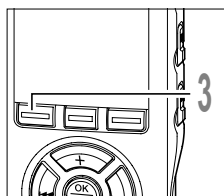
- 「ファイル」を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに「ファイルエンド」が2秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- 「フォルダ」を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに「ファイルエンド」が2秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- 「全ファイル」に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を始めます。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに「ファイルエンド」が2秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

部分リピート再生のしかた

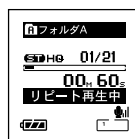
再生中のファイルの一部分を繰り返し再生することができます。

1 部分リピートしたいファイルを選び、再生またはOKボタンを押す

ファイルの再生を開始します。

2 部分リピート再生の開始位置で A-B ボタンを押す

「終了位置？」が点滅します。

この「終了位置？」の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞P53）や、早送り・早戻し（☞ P48）が行え、終了位置まで早く進めることができます。「終了位置？」の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合は、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度A-Bボタンを押す

「リピート再生中」が表示され、リピート再生を開始します。

部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピード（☞P53）をかえることができます。また部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマーク（☞ P74）の挿入・消去を行うと部分リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

部分リピート再生を解除する

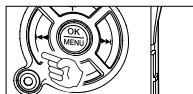
OK ボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

停止ボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

▶▶I ボタンを押す。

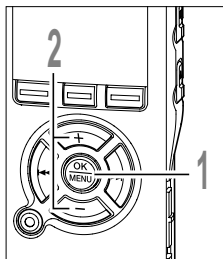
➥ 部分リピート再生が解除され、早送り、頭出しになります。

I◀◀ ボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、早戻し、頭出しになります。

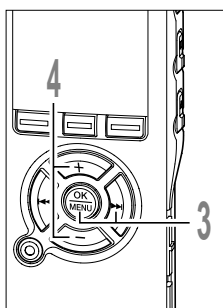
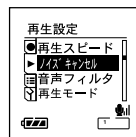
A-Bボタンを押す。

➥ 部分リピート再生が解除され、そのまま再生が継続します。

ノイズキャンセル（Noise Cancel）を設定する

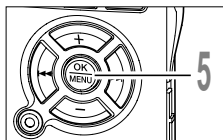
録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

1 停止中または再生中にMENUボタンを1秒以上押す

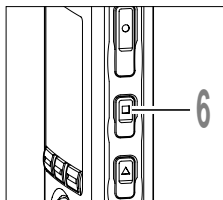
メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

2 ＋または－ボタンを押して「ノイズキャンセル」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

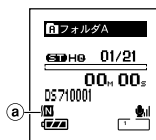
「ノイズキャンセル」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「HIGH」「LOW」「OFF」から選ぶ

＋または－ボタンを押すたびに、「HIGH」「LOW」「OFF」の順番でノイズキャンセルレベルが切り替わります。再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルの動きに合わせて再生音も切り替わります。

5 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 **停止**ボタンを押してメニュー画面を終了する

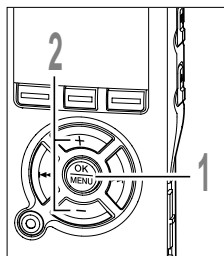
再生中にメニュー画面に入った場合は、⏮ボタン押してメニュー画面を終了してください。

ディスプレイに [N] が表示されます。

ⓐ ノイズキャンセル表示

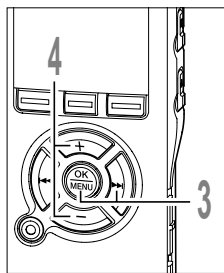
ご注意

- ノイズキャンセルレベルを「LOW」または「HIGH」にすると、その設定は「OFF」にするまで有効になります。
- 早聞き・遅聞き再生中（☞ P53）は、ノイズキャンセルを使用できません。
- 音声フィルタ機能を設定中（☞ P62）は、ノイズキャンセルを使用できません。
- EUPHONY 機能を設定中（☞ P64）は、ノイズキャンセルを使用できません。

音声フィルタ（Voice Filter）を設定する

再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

1 停止中または再生中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

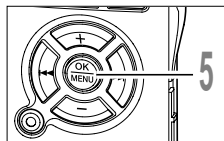
2 ＋または－ボタンを押して「音声フィルタ」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

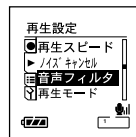
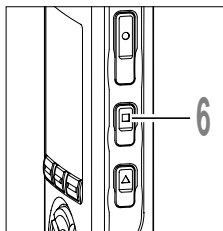
「音声フィルタ」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ＯＮ」か「OFF」を選ぶ

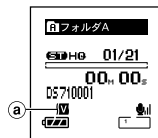
「ON」：音声フィルタをかけます。

「OFF」：音声フィルタを解除します。

再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルの動きに合わせて再生音も切り替わります。

5 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 **停止ボタンを押してメニュー画面を終了する**

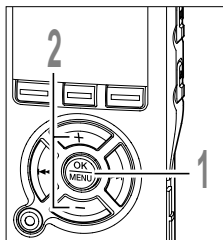
再生中にメニュー画面に入った場合は、⏮ボタン押してメニュー画面を終了してください。

「ON」に設定すると、ディスプレイに V が表示されます。

ⓐ 音声フィルタ表示

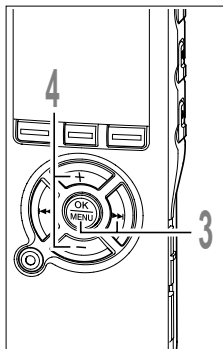
ご注意

- ノイズキャンセル機能を設定中（☞ P60）は、音声フィルタ機能を使用できません。
- EUPHONY 機能を設定中（☞ P64）は、音声フィルタ機能を使用できません。

臨場感（EUPHONY）を高める

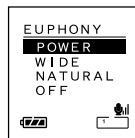
本機は帯域補正、拡張技術と仮想音源処理技術を組み合わせた最新のサラウンド方式「EUPHONY MOBILE」を搭載しています。ヘッドフォン再生において、自然な拡がり感以外に、圧迫感や密閉感などを感じにくくし長時間視聴でも疲れにくいという優れた特徴を備えております。EUPHONY設定はお好みに合わせ、4 段階 (POWER、WIDE、NATURAL、OFF) にレベル調整できます。

1 停止中または再生中にMENUボタンを1秒以上押す

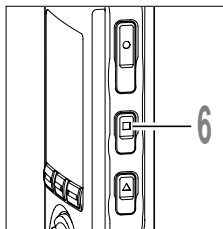
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

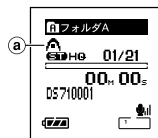
2 ＋または－ボタンを押して「EUPHONY」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「EUPHONY」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「POWER」「WIDE」「NATURAL」「OFF」から選ぶ

「OFF」: EUPHONYを解除します。
「NATURAL」: 自然な帯域補正と音場の広がりを実現するモード。
「WIDE」: より広がり感のあるモード。
「POWER」: より低音域を強調したモード。再生中にメニュー画面に入った場合は、カーソルの動きに合わせて再生音も切り替わります。

5 OKボタンを押して設定を完了する

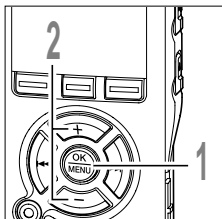
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

再生中にメニュー画面に入った場合は、⏮ボタン押してメニュー画面を終了してください。
「POWER」「WIDE」「NATURAL」に設定すると、ディスプレイに が表示されます。

ⓐ EUPHONY表示

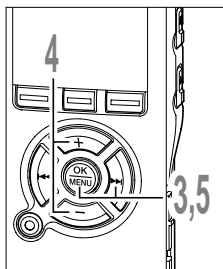
ご注意

- 早聞き・遅聞き再生中（☞ P53）は、EUPHONY 機能を使用できません。
- ノイズキャンセル機能を設定中（☞ P60）は、EUPHONY 機能を使用できません。
- 音声フィルタ機能を設定中（☞ P62）は、EUPHONY 機能を使用できません。

アラーム再生（Alarm）を使う

アラーム再生とは設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。
お好みの設定（ON/OFF、曜日、開始時刻、音量、アラーム、再生ファイル）を３件（予約１～3）まで登録しておくことができます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

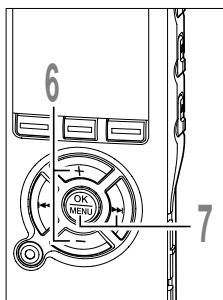
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋または－ボタンを押して「アラーム再生」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「アラーム再生」の設定を始めます。

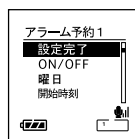
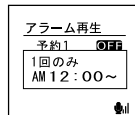
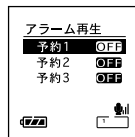
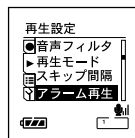
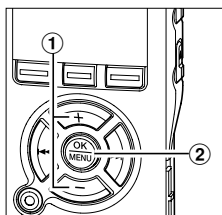
4 ＋または－ボタンを押して予約番号を選ぶ

予約番号にカーソルを合わせて表示ボタンを押すと、設定されている「曜日」と「開始時刻」が表示されます。

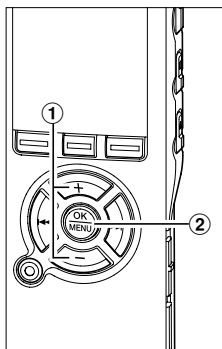
5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

6 ＋または－ボタンを押して設定項目を選ぶ

「ON/OFF」「曜日」「開始時刻」「音量」「アラーム」「再生ファイル」の中から、設定したい項目を選んでください。
「設定完了」を選ぶと設定を完了して、手順４の予約番号の選択表示に戻ります。

7 OKまたは▶▶Iボタンを押してそれぞれの設定に移る

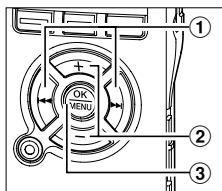
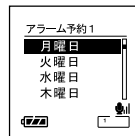
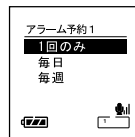
各設定の手順については、☞ P67、68 をご覧ください。

「ON/OFF」の設定

① ＋または－ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。
「ON」：設定内容が実行されます。
「OFF」：設定内容は実行されません。

② OKボタンを押して「ON/OFF」を完了します。

「曜日」の設定

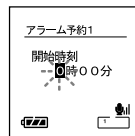
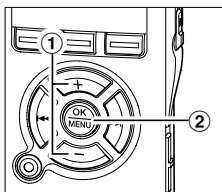
① ＋または－ボタンを押して「1回のみ」「毎日」「毎週」を選びます。

「1回のみ」：設定時刻で1回のみアラーム再生します。
「毎日」：設定時刻で毎日継続してアラーム再生します。
「毎週」：指定した曜日の設定時刻にアラーム再生します。
「毎週」を選んでOKまたは▶▶Iボタンを押すと「曜日」の選択に移ります。+または－ボタンを押して曜日を選んでください。

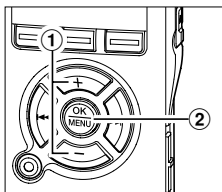
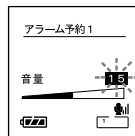
② OKボタンを押して「曜日」を完了します。

「開始時刻」の設定

① ▶▶IまたはI◀◀ボタンを押してアラーム再生の開始時刻の「時」「分」を選びます。

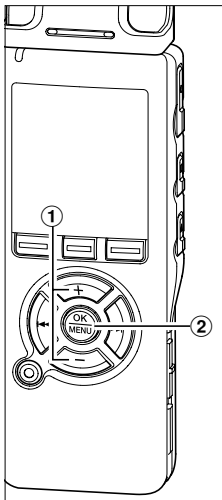
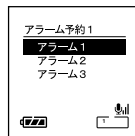
② ＋または－ボタンを押して設定します。

③ OKボタンを押して「開始時刻」を完了します。

「音量」の設定

① ＋または－ボタンを押して音量を調整します

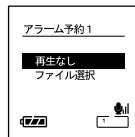
② OKボタンを押して「音量」を完了します。再生ボタンを押すと音量を確認できます。

「アラーム」の設定

① ＋または－ボタンを押してアラーム音を「アラーム1」「アラーム2」「アラーム3」から選びます。

② OKボタンを押して「アラーム」を完了します。再生ボタンを押すとアラーム音を確認できます。

「再生ファイル」の設定

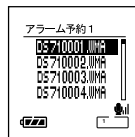
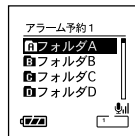
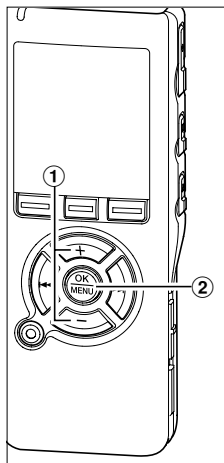
① ＋または－ボタンを押して「再生なし」「ファイル選択」を選びます。

「再生なし」：アラーム音のみを鳴らします。

「ファイル選択」：アラーム音の後に設定したファイルを再生します。

「ファイル選択」を選んでOKまたは▶▶Iボタンを押すと、アラーム再生するファイルの設定に移ります。

+または－ボタンでフォルダを選び、OKまたは▶▶Iボタンでファイルの選択に移ります。

ファイル選択も同様に＋または－ボタンでファイルを選びます。

② OKボタンを押して「再生ファイル」を完了します。

8 設定を完了する

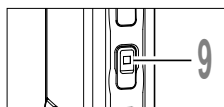
① ＋または－ボタンを押して「設定完了」を選びます。

② OKボタンを押して設定を完了します。

登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。ON/OFF設定をONにすると、ディスプレイに と((●))（アラーム再生表示）が表示されます。

OKボタンを押さずに⏮ボタンを押すと、それまで設定した内容はすべてキャンセルされ、予約選択メニューに戻ります。

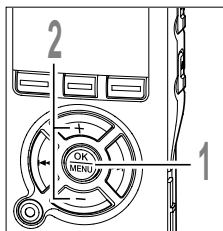
ⓐ アラーム再生表示

他の予約番号を設定する場合は、手順4～8の操作を繰り返してください。

9 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

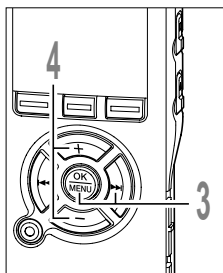
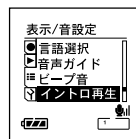
ご注意

- 「毎日」に設定した場合、設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
- アラームは鳴り始めて5分たつと止まります。このとき、再生ファイルを設定していてもファイルは再生されません。
- 開始時刻の設定が同じ場合の優先順位は、「予約 1」が一番高く、「予約 3」が一番低くなります。
- アラームを設定した時刻に本機を操作していたり、本機が動作中の場合は、アラーム再生されません。
- 電源OFFやホールドになっていても、アラーム再生の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。ホールド中の場合でもいずれかのボタンを押すと、設定したファイルの再生が始まり、停止ボタンを押すと再生を停止します。
- 設定したファイルを消去するとファイルの再生は行われず、アラーム音のみが鳴ります。
- タイマー録音と開始時刻の設定が同じ場合は、タイマー録音の設定を優先します。
- 初期化（☞ P82）を行うとアラーム音のデータも消去されるため、アラーム音を選択できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続してアラーム音データを本機にコピーしてください（☞ P124）。

イントロ再生（Intro Play）を使う

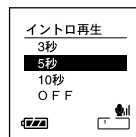
フォルダ内のファイルにカーソルを合わせるとファイルの先頭の数秒間を流すことができます。お探しのファイルを再生するときに便利です。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋または－ボタンを押して「イントロ再生」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

イントロ再生の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「3秒」「5秒」「10秒」か「OFF」を選ぶ

「3秒」: ファイルの先頭を3秒間再生します。
「5秒」: ファイルの先頭を5秒間再生します。
「10秒」: ファイルの先頭を10秒間再生します。
「OFF」: 設定を解除します。

5 OKボタンを押して設定を完了する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

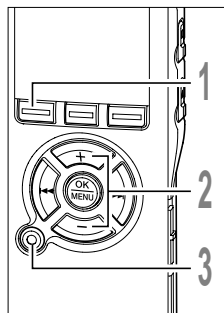
6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

3

イントロ再生を使う

消去する

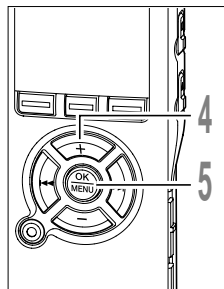
ファイルを 1 件ずつ消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。

1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

フォルダボタンを押すたびにフォルダが切り替わり、リスト表示画面が表示されます(☞ P21)。

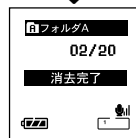
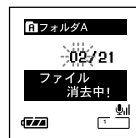
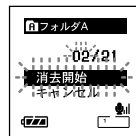
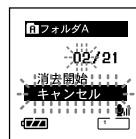
2 ＋または－ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ

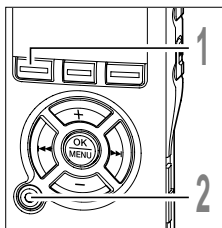
3 消去ボタンを押す

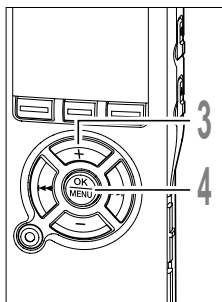
「キャンセル」が点滅します。

4 ＋ボタンを押して「消去開始」を選ぶ

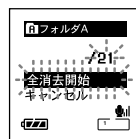
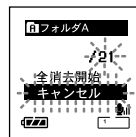
5 OKボタンを押す

ディスプレイが「ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。ただし消去ロック設定（☞ P76）のあるファイルや、パソコンで読み取り専用に設定したファイルは消去されません。

1 フォルダボタンを押して全ファイルを消去したいフォルダを選ぶ

2 消去ボタンを2回押す
「キャンセル」が点滅します。

3 ＋ボタンを押して「全消去開始」を選ぶ

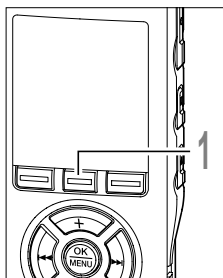
4 OKボタンを押す
ディスプレイが「全ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去ロック設定のファイルや読み取り専用ファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつきます。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞P76）。
- 「キャンセル」、「消去開始」または「全消去開始」の選択画面で８秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電源を切ったり、電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

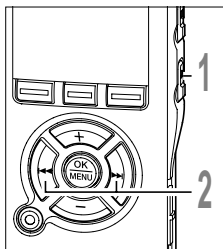
インデックスマーク・テンプマークをつける

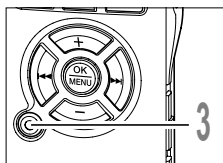
インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻し（☞ P48）やファイルの頭出し操作（☞ P49）で、聞きたい位置をすばやく探すことができます。オリンパス製ICレコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

インデックス・テンプマークをつける

1 録音中または再生中にインデックスボタンを押してインデックスマークまたはテンプマークをつける

ディスプレイに番号が表示されインデックスマークまたはテンプマークがつきます。
インデックス･テンプマークをつけた後も録音または再生は続きますので､同様の操作で別の場所にインデックス･テンプマークをつけることができます。

インデックス・テンプマークを消去する

インデックスマークまたはテンプマークは、以下の手順にしたがって消去してください。

1 消去したいインデックスマークまたはテンプマークのあるファイルを再生する

2 ▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押して消去したいインデックスマークまたはテンプマークを選ぶ

3 ディスプレイにインデックス･テンプ番号が表示されている間（約2秒間）に**消去**ボタンを押す

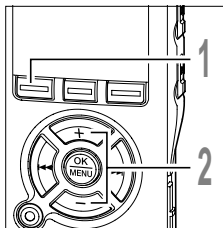
インデックスマークまたはテンプマークが消去されます。

消去したインデックス･テンプマーク以降のインデックス･テンプ番号は自動的に繰り上がります。
テンプマークは一時的なマーキングなので、他のファイルへの移動､リスト表示画面への切り替え､パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。

ご注意

- インデックスやテンプマークは１つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスやテンプマークをつけようとすると、インデックスマークは「これ以上記録できません」、テンプマークは「これ以上設定できません」と表示されます。
- 消去ロック（☞ P76）をかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません。

誤消去を防止（Lock）する

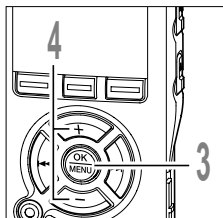
ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。
また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P71）。

1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

リスト表示画面

2 ＋または－ボタンを押して消去ロックをかけたいファイルを選ぶ

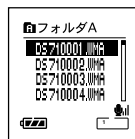
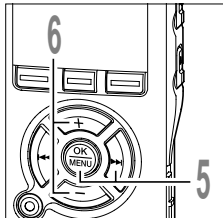
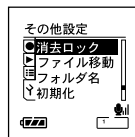
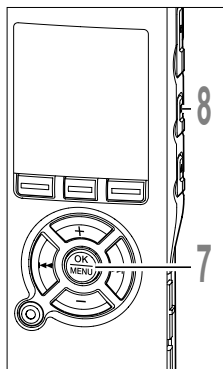
3 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

4 ＋または－ボタンを押して「消去ロック」を選ぶ

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

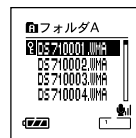
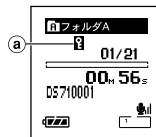
「消去ロック」の設定を始めます。

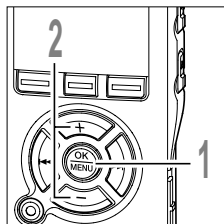
6 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

「ON」: 消去ロックがかかります。
「OFF」: 消去ロックが解除されます。

7 **OK**ボタンを押して設定を完了する

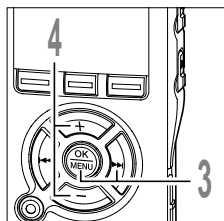
8 **停止**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ 消去ロック表示

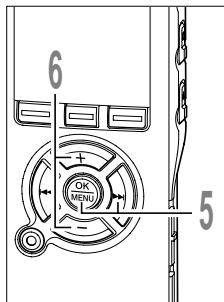
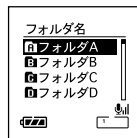
消去ロックを設定すると、ファイルのリスト表示画面にも消去ロック表示が表示されるので、重要なファイルを見分けるのに便利です。

フォルダ名（Folder Name）を変更する

音声録音用の A ～ E フォルダのフォルダ名は、テンプレートにあらかじめ登録されている名前（「会議」「商談」「出張」など）に変更することができます。テンプレートに登録されているフォルダ名はDSS Playerで変更することもできます（☞ P122）。

1 **停止中にMENUボタンを1秒以上押す**

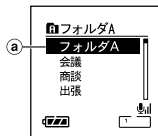
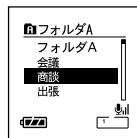
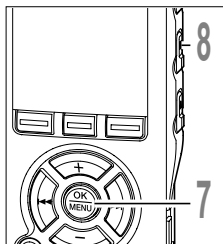
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 **＋またはーボタンを押して「フォルダ名」を選ぶ**

3 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**

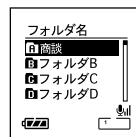
フォルダ名の設定を始めます。

4 **＋またはーボタンを押して名前を変更するフォルダを選ぶ**

5 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**

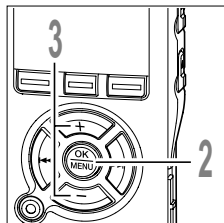
テンプレート登録されているフォルダ名を表示します。

ⓐ 現在のフォルダ名

6 **＋またはーボタンを押して、テンプレートから変更したいフォルダ名を選ぶ**

7 OKボタンを押して名前をつけるフォルダを変更する

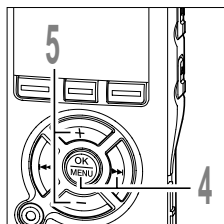
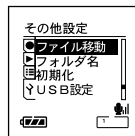
⏮ボタンを押すとフォルダ名は変更されずに手順4の表示に戻ります。

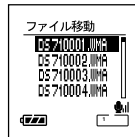
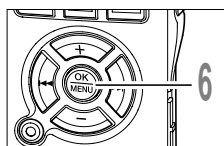
8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する。

ファイルを移動（File Move）する

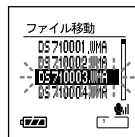
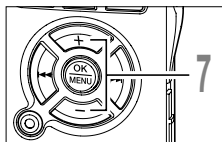
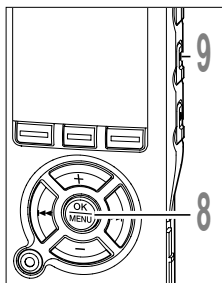
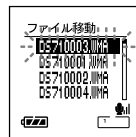
フォルダ内にあるファイルを移動して再生順を変更することができます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選択しておきます。

1 フォルダをボタン押してフォルダを選ぶ

2 MENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

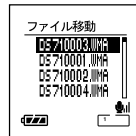
3 ＋または－ボタンを押して「ファイル移動」を選ぶ

4 OKまたは▶▶Iボタンを押す

現在のフォルダ内のファイルをリスト表示します。

5 ＋または－ボタンを押してファイルを選ぶ

6 OKボタンを押す

カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。

7 **＋または－ボタンを押して移動したい場所を選ぶ**

8 **OKボタンを押す**

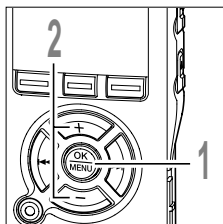
移動が完了します。

引き続き並び替えたいファイルがある場合は、再度手順5〜8の操作を行ってください。

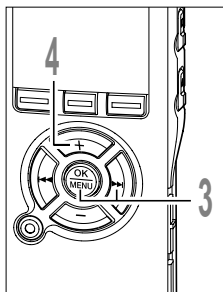
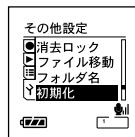
OKボタンを１秒以上押した場合は、並び替えを完了して「ファイル移動」の表示に戻ります。

9 **停止ボタンを押してメニュー画面を終了する**

初期化(Format)する

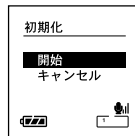
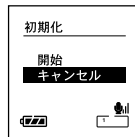
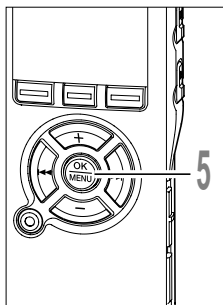
初期化すると記録されているファイルはすべて消去され、年月日時分の設定を残し、各機能の設定が購入時の状態に戻ります。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

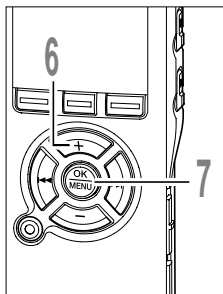
初期化を行うと音声ガイド(☞ P95)やアラーム音(☞ P66)、電源をON/OFF(☞ P16)する際の起動音/終了音のデータも消去されるため、以後、これらの機能がご使用できなくなります。データを消去してしまった場合はパソコンに接続し、DSS Playerを使って各データを本機にコピーしてください(☞ P124)。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 +または−ボタンを押して「初期化」を選ぶ

3 OKまたは▶▶|ボタンを押す

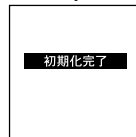
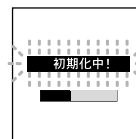
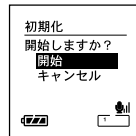
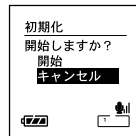
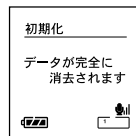
「キャンセル」が点滅します。

4 +ボタンを押して「開始」を選ぶ

5 OKボタンを押す

「データが完全に消去されます」を2秒間点灯後、「キャンセル」が点灯します。

6 ＋ボタンを押してもう一度「開始」を選ぶ

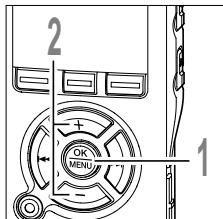
7 OKボタンを押す

「初期化中！」が点滅して初期化を開始します。

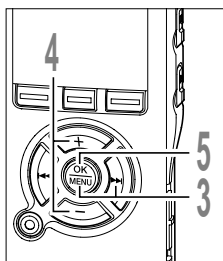
「初期化完了」が表示されたら初期化完了です。

ご注意

- 初期化中は絶対に電源を切ったり、電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。消去を完了するまで数十秒かかることがあります。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が 0001 からとなる場合があります。
- 一度初期化をすると、DRM付き音楽ファイルを再び本機へ転送することができなくなる場合があります。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。

USB設定(USB Class)の切り替え

音声認識ソフトや他のアプリケーションなどで、本機をUSBマイクやUSBスピーカとしてご使用になるときは、本機のUSBクラスを「オーディオ」に設定してください。USBマイク機能を使うことで、音声認識ソフトのエンロール(=音声を学習させる)作業が可能になります。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

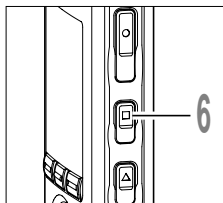
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 +または−ボタンを押して「USB設定」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「USB設定」を始めます。

4 +または−ボタンを押して「オーディオ」を選ぶ

5 OKボタンを押して設定を完了する

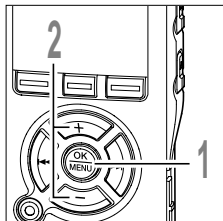
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

オーディオクラスに切り替え後、初めて本機をパソコンに接続すると、ドライバがパソコンに自動的にインストールされます。オーディオクラスでパソコンに接続中は、本機のディスプレイに「PCと接続中です(オーディオ)」と表示されます。

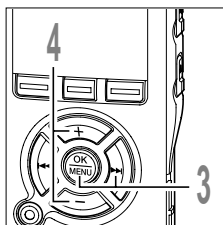
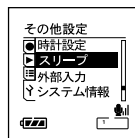
ご注意

- オーディオクラスに設定すると、パソコンでリムーバブルディスクとして認識されません。

スリープ(Power Save)時間をかえる

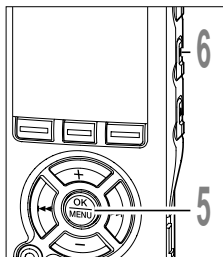
電源を入れて停止状態のまま10分以上(初期設定)経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ(省電力)モードになります。移行時間は「5分」「10分」「30分」「1時間」「OFF」の中から選んで設定できます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋または－ボタンを押して「スリープ」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「スリープ設定」を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「5分」「10分」「30分」「1時間」「OFF」から選ぶ

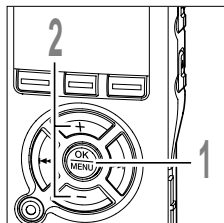
スリープを「OFF」に設定すると省電力モードにならないため、そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

5 OKボタンを押して設定を完了する

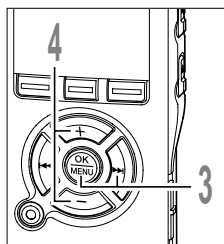
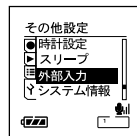
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

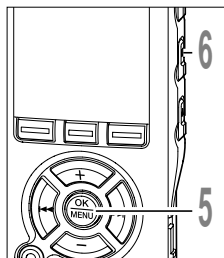
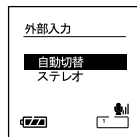
6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

スリープモードはいずれかのボタンを押すことによって解除されます。

外部入力（Ext.Input）設定をかえる

本機はマイクジャックの状態（専用ステレオマイクや専用リモコンステレオマイクの挿入を含む）を判別し、録音モードに合った録音が行えるように設定されています。
他社製の外部ステレオマイクを使用すると、間違ってモノラルマイクに判別されることがあります。その場合は、外部入力設定を「ステレオ」に切り替えて録音を行ってください。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す
メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

2 ＋または－ボタンを押して「外部入力」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す
「外部入力設定」を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「自動切替」か「ステレオ」を選ぶ
他社製の外部ステレオマイクがモノラルマイクと判別され、ステレオ録音できない場合は、「ステレオ」を選んでください。

5 OKボタンを押して設定を完了する
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

モノラルマイクでステレオ録音を行った場合や、ステレオマイクでモノラル録音を行った場合は、「外部入力」の設定により録音が下記のように切り替わります。

「自動切替」設定時

マイクジャックの挿抜状態	録音モード(☞P32)
• 外部モノラルマイク	ステレオ録音(PCM, STXQ, STHQ, STSP) ➡ 左チャンネル(Lch)と右チャンネル(Rch)に、モノラルマイクでとった同じ音を録音します。
• 外部ステレオマイク • リモコンステレオマイク(☞P24)	モノラル録音(HQ, SP, LP) ➡ 左チャンネル(Lch)と右チャンネル(Rch)の 2 つのマイクでとった音を、合成してモノラル録音します。

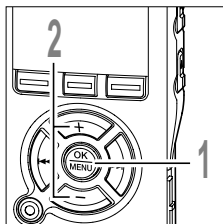
「ステレオ」設定時

マイクジャックの挿抜状態	録音モード(☞P32)
• 外部モノラルマイク	ステレオ録音(PCM, STXQ, STHQ, STSP) ➡ 左チャンネル(Lch)だけに録音します。 右チャンネル(Rch)は無音になります。
• 外部ステレオマイク • リモコンステレオマイク(☞P24)	モノラル録音(HQ, SP, LP) ➡ 左チャンネル(Lch)のマイクでとった音だけをモノラル録音します。

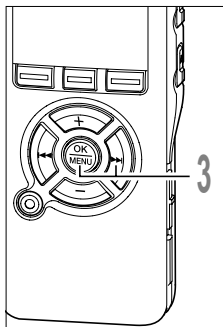
ご注意

- マイクの抜き差しは本機を停止状態にしてから行ってください。
- マイクジャック未挿入状態でステレオ録音(PCM, STXQ,STHQ,STSP)を行った場合は、「外部入力」の設定に関係なく、左チャンネル(Lch)と右チャンネル(Rch)に、内蔵マイクでとった同じ音を録音します。
- マイクジャックに専用マイク(ME55S)以外を接続する場合は指向性マイク機能(☞ P36)は「OFF」でお使いください。「ON」でお使いになった場合には正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。

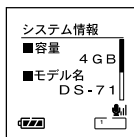
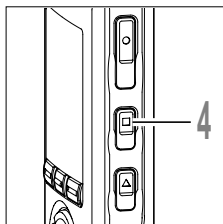
システム情報（System Info.）を見る

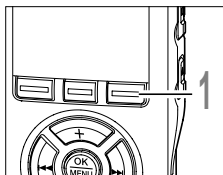
メニュー画面から本機の情報を確認することができます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

2 ＋または－ボタンを押して「システム情報」を選ぶ

3 OKまたは►►Iボタンを押す

「容量/モデル名」が表示されます。

＋または－ボタンを押すたびに、「バージョン/シリアル番号」と「容量/モデル名」を交互に表示します。

4 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ディスプレイ表示をかえる

本機はディスプレイ表示の切り替えが可能です。停止・再生中または録音中に表示ボタンを押すとディスプレイ表示が切り替わり、ファイルに関する情報や本機の状態が確認できます。

1 表示ボタンを押す

ファイル表示画面で表示ボタンを押すたびにディスプレイの表示パターンがかわります。

停止・再生中の表示パターン

①から③を繰り返し表示します。

① 再生中のファイルの経過時間/ファイル名*

再生中のファイルの経過時間とファイル名(音楽ファイルの場合はアーティスト名/曲名)を表示します。
アーティスト名と曲名は各64文字まで表示可能です。

② 再生中のファイルの経過時間/ファイル長

再生中のファイルの経過時間とファイルの長さを表示します。

③ タイムスタンプ

録音を終了した年･月･日･時･分を表示します。

＊ 文字数が多いときは横にスクロールして表示します。

録音中の表示パターン

①と②を交互に表示します。

ステレオ録音時

モノラル録音時

① メモリ残量バー/現在の録音経過時間/録音レベルメータ

現在の録音経過時間をカウントアップ形式で表示し、メモリ残量バーと音声の入力レベルをグラフィックで表示します。
音声入力レベルの表示はステレオ録音とモノラル録音により異なります。

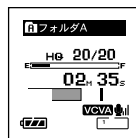
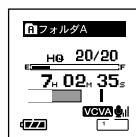
ステレオ録音時

モノラル録音時

② メモリ残量バー/録音可能な残り時間/録音レベルメータ

録音可能な残り時間をカウントダウン形式で表示し、メモリ残量バーと音声の入力レベルをグラフィックで表示します。

VCVA 録音中の表示パターン

①と②を交互に表示します。

ステレオ録音時

モノラル録音時

① メモリ残量バー/現在の録音経過時間/VCVA録音レベルメータ

現在の録音経過時間をカウントアップ形式で表示し、メモリ残量バー、音声の入力レベルと起動レベルをグラフィックで表示します（VCVA起動レベルに達していないときは「待機中」表示）。
音声入力レベルの表示はステレオ録音とモノラル録音により異なります。

ステレオ録音時

モノラル録音時

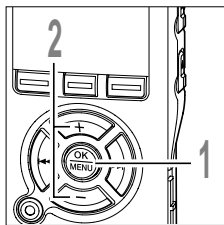
② メモリ残量バー/録音可能な残り時間/VCVA録音レベルメータ

録音可能な残り時間をカウントダウン形式で表示し、メモリ残量バー、音声の入力レベルと起動レベルをグラフィックで表示します（VCVA起動レベルに達していないときは「待機中」表示）。

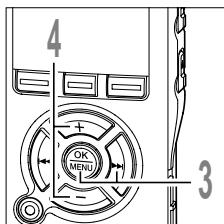
5

ディスプレイ表示をかえる

バックライト(Backlight)について

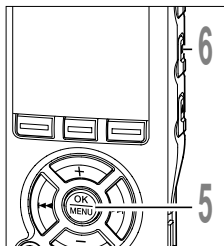
ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約10秒間点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 +または−ボタンを押して「バックライト」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「バックライト」の設定を始めます。

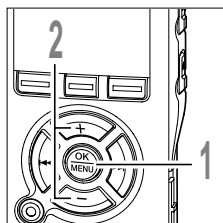
4 +または−ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

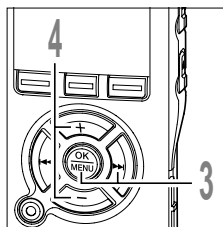
「ON」: バックライトを設定します。
「OFF」: バックライトを解除します。

5 OKボタンを押して設定を完了する

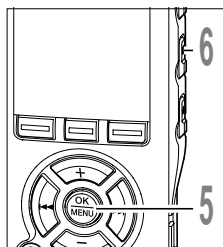
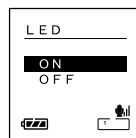
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

LED (LED) について

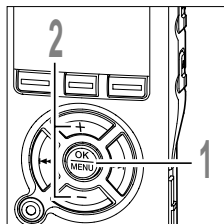
録音 / 再生表示ランプを点灯しないように設定することができます。

1 **停止中にMENUボタンを1秒以上押す**
メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 **+または−ボタンを押して「ＬＥＤ」を選ぶ**

3 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**
「ＬＥＤ」の設定を始めます。

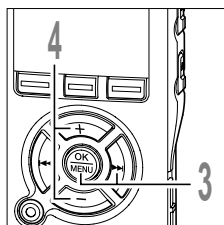
4 **+または−ボタンを押して「ＯＮ」か「OFF」を選ぶ**
「ON」: LEDの点灯を設定します。
「OFF」: LEDの点灯を解除します。

5 **OKボタンを押して設定を完了する**
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 **停止ボタンを押してメニュー画面を終了する**

ディスプレイのコントラスト(Contrast)を調整する

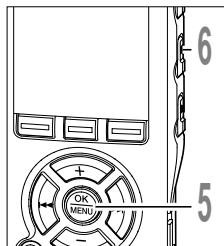
ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 +または−ボタンを押して「コントラスト」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「コントラスト」の設定を始めます。

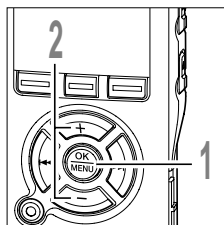
4 +または−ボタンを押してレベルを調整する

「1」から「12」の間で調整を行います。

5 OKボタンを押して設定を完了する

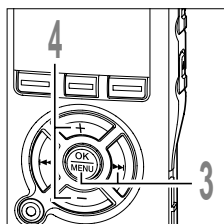
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

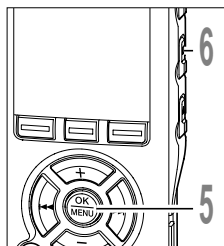
言語選択（Language）のしかた

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選ぶことができます。設定した言語に合わせ、音声ガイド（☞ P95）のアナウンス言語も切り替わります。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

2 ＋または－ボタンを押して「言語選択」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

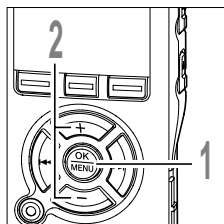
「言語選択」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「日本語」か「ENGLSH」を選ぶ

5 OKボタンを押して設定を完了する

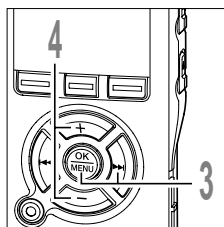
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

音声ガイド（Voice Guide）について

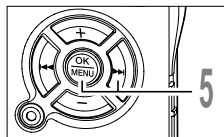
本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。アナウンスのスピードや音量を調節してご使用ください。
「言語選択」機能で言語を「英語」に切り替えると、英語で音声ガイドを行います。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P99、101)。

2 ＋または－ボタンを押して「音声ガイド」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

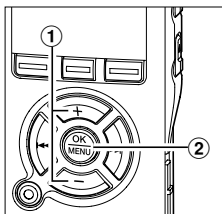
「音声ガイド」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して設定項目を選ぶ

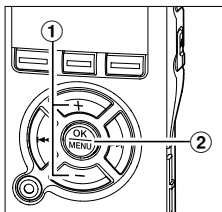
「ON/OFF」「スピード」「音量」の中から、設定したい項目を選んでください。

5 OKボタンまたは▶▶Iボタンを押して、それぞれの設定に移る

各設定の手順については、☞ P96をご覧ください。

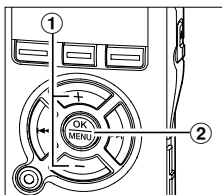
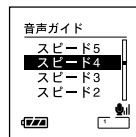
5

音声ガイドについて

「ON/OFF」の設定

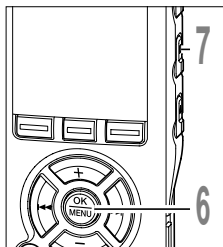
① +または−ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。
「ON」: 音声ガイドが実行されます。
「OFF」: 音声ガイドを解除します。

② OKボタンを押して「ON/OFF」を完了します。

「スピード」の設定

① +または−ボタンを押して「スピード5」「スピード4」「スピード3」「スピード2」「スピード1」を選びます。

② OKボタンを押して「スピード」を完了します。

「音量」の設定

① +または−ボタンを押して「音量5」「音量4」「音量3」「音量2」「音量1」を選びます。

③ OKボタンを押して「音量」を完了します。

6 **OK**ボタンを押して設定を完了する

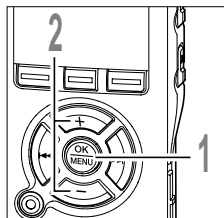
⏮◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

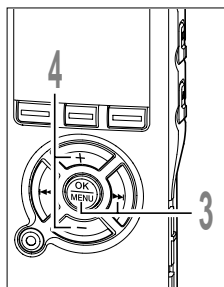
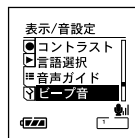
7 **停止**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

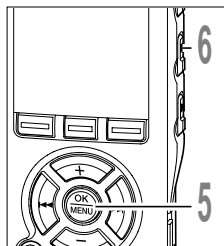
- 電源をON/OFF（☞ P16）する際の起動音 / 終了音は、音声ガイドを「OFF」に設定すると解除されます。
- 初期化（☞ P82）を行うと音声ガイドのデータも消去されるため、音声ガイドが使用できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して音声ガイドデータを本機にコピーしてください（☞ P124）。
- 音声ガイドの「音量」設定で、起動音 / 終了音の音量も設定されます。

ビープ音（Beep）について

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。
ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定したり、3 段階の警告音量を選択することもできます。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す
メニュー画面に入ります（☞ P99、101）。

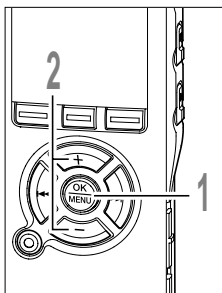
2 ＋または－ボタンを押して「ビープ音」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す
「ビープ音」の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「音量 3 」「音量 2 」「音量 1 」か「OFF」を選ぶ

「音量3」：ビープ音の音量を大きくします。
「音量2」：ビープ音の音量を通常にもどします。
「音量1」：ビープ音の音量を小さくします。
「OFF」：ビープ音を解除します。

5 OKボタンを押して設定を完了する
I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

1 停止中にMENUボタンを1秒以上押す

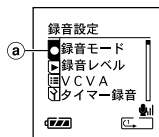
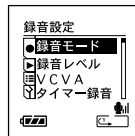
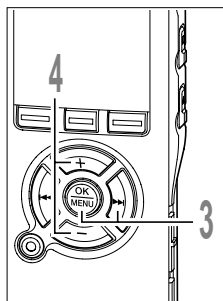
メニュー画面に入ります(☞ P101)。
録音または再生中に設定できるメニュー項目もあります(☞ P103)。

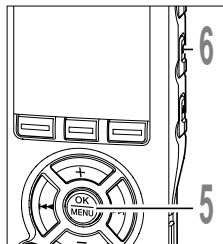
2 ＋または－ボタンを押して設定したい項目に移動する

タブを使っての設定

① 各項目で⏮ボタンを押すと、タブへ移動します。
ⓐ **選択中のタブ**

② ＋または－ボタンを押して設定したい項目のあるタブへ移動します。

③ ⏭またはOKボタンを押して設定したい項目へ移動します。

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

選択した項目の設定に移動します。

4 ＋または－ボタンを押して設定変更する

5 OKボタンを押して設定内容を確定する

I◀◀ボタンを押すと設定がキャンセルされ、メニュー項目に戻ります。

6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

メニュー一覧

● MENU 設定（停止中に MENU ボタンを 1 秒以上押す）

タブ	項目	選択肢	参照頁
録音設定 ●	録音モード Rec Mode	PCM*/ステレオXQ/ステレオHQ/ステレオSP/HQ/SP/LP *PCMはDS-71のみ	P32
	録音レベル* Rec Level	マニュアル/オート	P33
	VCVA VCVA	ON/OFF/待機モニター/起動レベル* *起動レベルはDS-71のみ	P28
	タイマー録音 Timer Rec	予約1、予約2、予約3（予約1～3にタイマー録音のON/OFFや、曜日、時刻、録音モード、録音フォルダ、マイク感度の設定ができます。）	P42
	ローカットフィルタ LowCut Filter	ON/OFF	P38
	指向性マイク Zoom Mic	ZOOM/NARROW/WIDE/OFF	P36
再生設定 ▶	再生スピード Play Speed	遅聞き再生、早聞き再生（遅聞き再生、早聞き再生の再生スピードが設定できます。）	P53
	ノイズキャンセル Noise Cancel	HIGH、LOW、OFF	P60
	音声フィルタ Voice Filter	ON/OFF	P62
	再生モード Play Mode	ファイル、ファイルリピート、フォルダ、フォルダリピート、全ファイル、全ファイルリピート	P56
	スキップ間隔 Skip Space	スキップ、逆スキップ（スキップや逆スキップのスキップ間隔の設定ができます。）	P51
	アラーム再生 Alarm	予約1、予約2、予約3（予約1～3にアラーム再生のON/OFFや、曜日、開始時刻、音量、アラーム、再生ファイルの設定ができます。）	P66
	EUPHONY EUPHONY	POWER、WIDE、NATURAL、OFF	P64
表示/音 設定（次項へ）	バックライト（次項へ）		

*は DS-71 のみの機能です。

タブ	項目	選択肢	参照頁
表示/音 設定	バックライト Backlight	ON、OFF	P91
	LED LED	ON、OFF	P92
	コントラスト Contrast	コントラストレベル（０１～１２）の設定ができます。	P93
	言語選択 Language	日本語、ENGLISH	P94
	音声ガイド Voice Guide	ON/OFF、スピード、音量	P95
	ビープ音 Beep	音量1、音量2、音量3、OFF	P98
	イントロ再生 Intro Play	3秒、5秒、10秒、OFF	P70
その他 設定	消去ロック Lock	ON、OFF	P76
	ファイル移動 File Move	フォルダ内のファイルの再生順序を設定できます。	P80
	フォルダ名 Folder Name	あらかじめ用意したテンプレートの中からフォルダ名を選んで設定できます。	P78
	初期化 Format	開始、キャンセル	P82
（次頁へ）	USB設定 （次頁へ）		

タブ	項目	選択肢	参照頁
その他 設定	USB設定 USB Class	ストレージ、オーディオ	P84
	時計設定 Time & Date	時、分、年、月、日	P18
	スリープ Power Save	5分、10分、30分、1時間、ＯＦＦ	P85
	外部入力 Ext. Input	自動切替、ステレオ	P86
	システム情報 System Info.	容量/モデル名、バージョン/シリアル番号	P88
録音設定 P101へ	録音モード P101へ		

●録音MENU設定

●再生MENU設定

ファイルをパソコンに保存する

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンで音声ファイルを再生する
  本機で録音した音声ファイルは、同梱のCD-ROMに含まれているソフトウェアDSS Player または Windows Media Player（☞ P140）を使って、パソコン上で再生できます。
- DSS Player を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理することができます。
- Windows Media Player を使ってパソコンに取り込んだ WMA や MP3 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます。
- DSS Player Plus へのアップグレード（有償）を行えば、より多彩な機能をご利用いただけます（☞P127）。

本機をパソコンに接続して扱うときの注意事項

●本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードするときはパソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音/再生表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB接続ケーブルを外さないでください。また、USB接続ケーブルを外す場合は、必ず☞ P113に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

●パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合は正しく初期化されません。初期化は、本機のメニュー画面から行ってください（☞ P99、101）。

●Windows に付属の「エクスプローラ」で表示されるフォルダ（ディレクトリ）名は本機および DSS Player で設定できるフォルダ名とは異なります。

●「エクスプローラ」のファイル管理ツールを使用して、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。

●パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。

●ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、イヤホンを外してください。

DSS Player を使う

DSS Player の基本動作環境

対応パソコン	DOS/V 機（IBM PC/AT 互換機）
OS(オペレーティングシステム)	Microsoft Windows 2000 Professional（以降 Windows 2000 と表記）/XP Professional, Home Edition（以降 XP と表記）/Vista Ultimate, Enterprise, Business, Home Premium, Home Basic (以降 Vista と表記)
CPU	Windows 2000/XP：Intel Pentium II 333MHz 以上（WMA 形式で直接ハードディスクに録音する場合は 500MHz 以上の環境でご使用ください） Windows Vista：800MHz 以上
RAM 容量	Windows 2000/XP：128MB 以上（256MB 以上を推奨） Windows Vista：500MB 以上 (1GB 以上を推奨)
ハードディスク空き容量	DSS Player のインストール：50MB 以上
ドライブ	2 倍速以上の CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
サウンドボード	Creative Labs Sound Blaster16 または 100%互換のサウンドボード
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット、256 色以上
USB ポート	１つ以上の空き
オーディオ入出力端子	イヤホンまたはスピーカ出力端子
その他	・ マウス、またはそれに類するポインティングデバイス ・ インターネットが利用できる環境

ご注意

- NEC PC-9821シリーズのサポートはしておりません。(PC-9821をお客様でクロックアップやメモリ拡張したものを含みます)。
- パソコンがUSBポートを備えていても、Windows 95/98/Meから2000/XP/Vistaにアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。お客様の環境と異なる場合は、説明内容にしたがいそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

- 1台目のハードディスクをCドライブとして解説します。
- 1台目のフロッピーディスクをAドライブとして解説します。
- 1台目のCD-ROMドライブをDドライブとして解説します。
- Windows XPを使用しているものとし、WindowsのインストールのパスをC:¥Windowsとして解説します。

また、お客様がパソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。

パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。分からない用語については、「用語の説明」をご覧ください（☞P159）。

ソフトウェアのインストール

本機をパソコンにつないでご使用になるには、同梱のCD-ROM「DSS Player」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

「DSS Player」に付属のアプリケーション

- DSS Player：本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理することができます。
- オンラインユーザー登録:オリンパスのインターネットサイトに接続し､オリンパスのユーザー登録を行います。

インストールの前に次のことをご確認ください

- DS-50/40用のDSS Playerを既にPCにインストールしている場合は、一旦それらをアンインストール（☞ P110）し、DS-71/61/51に付属する最新版のDSS Playerをインストールする必要があります。
- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- フロッピーディスクドライブにディスクが入っている場合は抜いてください。
- Administrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

1 Windowsを起動する

2 付属の「DSS Player」をCD-ROMドライブに挿入する

自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順5に進み、起動しない場合は次の手順3、4にしたがって進んでください。

3 [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選ぶ

4 [名前:]に「D:¥Setup.exe」と入力して[OK]ボタンをクリックする

CD-ROMドライブがD:と仮定します。

5 「DSS Player」のオープニング画面が表示されたら､「DSS Playerのインストール」または「オンラインユーザー登録」を選択する

DSS Player のインストール

6 [ユーザー情報の登録]
あなたのお名前、会社名およびシリアル番号を入力してください。シリアル番号はDSS Player収録のCD-ROMパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。
入力が終りましたら［次へ］をクリックします。確認のダイアログが現れる場合は［はい］をクリックしてください。

7 [使用許諾契約]
DSS Playerをインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［はい］をクリックしてください。

8 [インストール先の選択]
DSS Playerのインストール先を変更するときは［参照］を、変更の必要がなければ［次へ］をクリックします。
変更しない場合は、C:¥Program Files ¥Olympus¥DSS Playerとなります。

9 [新しいフォルダの確認]
インストール先のフォルダが存在しない場合、作成確認の画面が表示されますので［はい］をクリックします。

10 [プログラム フォルダの選択]
プログラムフォルダの選択ができます。変更の必要がなければ［次へ］をクリックします。

11 [現在の設定]
現在の設定を確認します。よろしければ［次へ］をクリックし、プログラムフォルダやインストールフォルダを変えたいときは［戻る］をクリックし、変更してください。

12 ファイルコピーの開始
DSS Playerが自動的にインストールされますので、しばらくお待ちください。このとき他の作業は行わないでください。

13 [Install Shield ウィザードの完了]
［完了］をクリックします。
自動的に手順5の画面に戻ります。

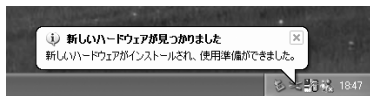
引き続きオンラインユーザー登録をする方は「オンラインユーザー登録」を選択し、手順14へ進んでください。

オンラインユーザー登録

14 **画面の文章をお読みになり、指示に従ってユーザー登録を行う**

ドライバのインストール

15 **「パソコンに接続する」(☞P112)を参考に、本機をパソコンに接続する**

DSS Player をインストールして初めて本機をパソコンに接続すると、本機のドライバが自動的にインストールされます。正常にドライバがインストールされると以下のように表示があらわれDSS Playerが自動的に起動します(DSS Playerの操作方法は☞P115以降を参照してください)。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを取り除くことをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

1 DSS Playerを終了する

2 [スタート]メニューより[コントロールパネル]を選ぶ

3 コントロールパネルウィンドウ内にある[プログラムの追加と削除]をクリックする

4 インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら、アンインストールするソフトウェアを選ぶ

5 [変更と削除]をクリックする

6 [ファイル削除の確認]

［OK］ボタンをクリックするとアンインストールを開始します。
途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示にしたがって操作してください。

7 [メンテナンスの完了]の画面が表示されたら[完了]をクリックし、アンインストールを終了する

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイルは「Message」フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。「Message」フォルダの場所は、アンインストールする前に［ツール］メニューの［オプション］をクリックし「ダウンロードフォルダ」の項目で確認できます。

オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを表示するには、次のいずれかを行ってください。

- ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Olympus DSS Player］→［ヘルプ］を選択する。
- DSS Playerを起動した状態で、［ヘルプ］メニューから［トピックの検索］を選択する。
- DSS Player を起動した状態で、キーボードの［F1］キーを押す。

目次で検索する

1 **オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする**

2 **検索したい項目の 📘 をダブルクリックする**
選択項目のタイトルが表示されます。

3 **検索したい項目の ? をダブルクリックする**
選択項目の説明が表示されます。

キーワードで検索する

1 **オンラインヘルプを表示させてから、キーワードのタブをクリックする**
検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

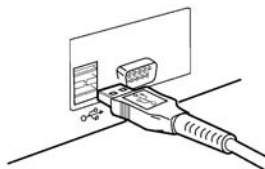
2 **文字を入力する**
自動的に検索されます。

3 **項目を選択して［表示］をクリックする**
選択項目の説明が表示されます。

ご注意

- 本書はDSS Playerの基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプはDSS Playerのインストール後から使用できます。

パソコンに接続する

本機の接続は、必ずDSS Playerをインストールしてから行ってください(☞ P107)。

パソコンに接続する

1. **本機の電源をONにする**
2. **USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する**
3. **本機が停止していることを確認し、本機側面の接続ポートへUSB接続ケーブルを接続する**

   USB接続中は、本機のディスプレイに「PCと接続中です(ストレージ)」と表示されます。

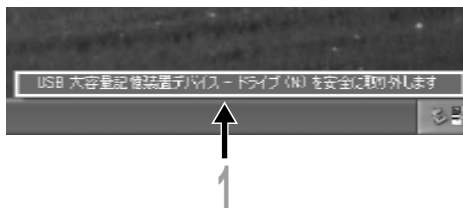
本機を接続し「マイコンピュータ」を開くと「リムーバブルディスク」ドライブとして表示されます。

ご注意

- 本機をパソコンと接続してDSS Playerをご利用になる場合、本機のメニュー設定でUSBクラス(☞ P84)をストレージクラスにしてください。オーディオクラスで接続すると、本機をリムーバブルディスクドライブとして認識しません。
- USB接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから外す

1 画面右下のタスクバーの をクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します]をクリックする

お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 USB接続ケーブルを外す

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプ点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンと接続すれば、付属の USB 接続ケーブルより電源が供給されますので、本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。
- パソコンの USB ポートまたは USB ハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB 接続ケーブルは、必ずパソコン本体の USB ポートまたはセルフパワー（AC アダプタ接続）の USB ハブに接続してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- ホールドは解除してください。

DSS Playerを起動する

本機をパソコンに接続すると自動的にDSS Playerを起動できます。

自動起動の設定を停止する場合

1 画面右下のタスクバーの アイコン を右クリックし、[設定]を選ぶ

設定可能なアプリケーションをダイアログ表示します。

2 [DSS Player]の☑をクリックする

「DSS Player」についていたチェックが消えます。再び自動起動する場合はもう一度クリックしてチェックを入れてください。

手動で起動する場合

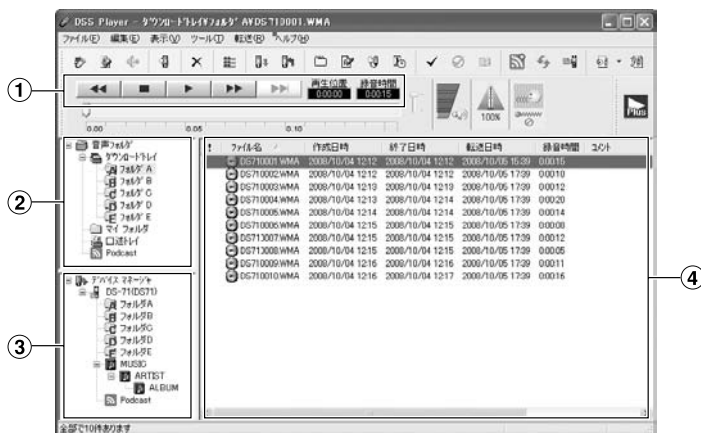
1 Windowsを起動する

2 [スタート]→[すべてのプログラム]→[Olympus DSS Player] の順に選ぶ

3 [Olympus DSS Player] をクリックする

ご注意

- 複数のDSS Playerを同時に起動させることはできません。

ウィンドウのなまえ(DSS Player)

✻ DSS Player 起動時のメイン画面です

① 再生コントロールボタン
ファイルの再生や、停止など操作を行うボタンが配置されています。

② 音声フォルダウィンドウ
パソコン内のDSS、WMA、MP3、WAV形式ファイルが入ったフォルダを階層表示します。

③ デバイスウィンドウ
本機内のフォルダを階層表示します。

④ 音声ファイル一覧ウィンドウ
②、③ で選択されているフォルダ内のファイルを表示します。

録音した音声をパソコンに取り込む

本機からファイルをパソコンに取り込むことをダウンロードと呼びます。DSS Playerでは、ファイルをパソコンにダウンロードする方法として次の3つがあります。

- 選択ファイルのダウンロード
  1つ、または複数のファイルを選択してパソコンに取り込みます。
- フォルダ単位のダウンロード
  フォルダ内にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
- すべてのダウンロード
  ダウンロードアイコンをクリックして、本機にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。

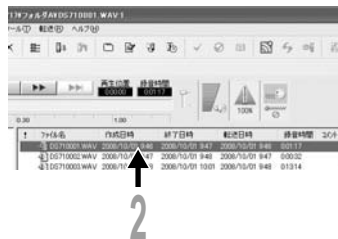
ここでは「選択ファイルのダウンロード」について説明します。「フォルダ単位のダウンロード」や「すべてダウンロード」については、オンラインヘルプをご覧ください。

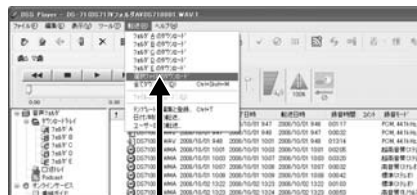
選択ファイルのダウンロード

1 フォルダを選ぶ

デバイスウィンドウでダウンロードしたいファイルが入ったフォルダを選びます。図では、フォルダAが選択されています。

2 ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウからダウンロードしたい音声ファイルを選択します。
複数選択する場合は、[Ctrl] キーまたは [Shift] キーを押しながら選びます。図では1つのファイルが選択されています。

3 ファイルをダウンロードする

[転送] メニューから [選択ファイルのダウンロード]をクリックします。

4 ダウンロードの完了

パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音/再生表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB接続ケーブルを外さないでください。

USB接続ケーブルを外す場合は、必ず☞P113に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

ご注意

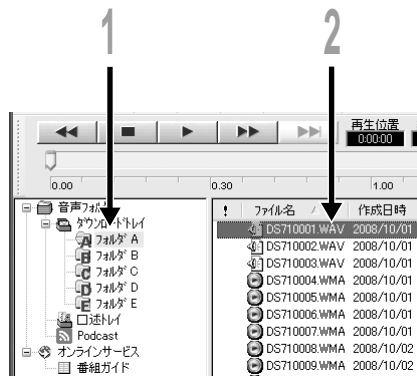
- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- ファイルのサイズやパソコンによってはダウンロードに時間がかかることがあります。
- ダウンロード先は、本機のフォルダと対応した、ダウンロードトレイのフォルダに保存されます。
  (例) 本機のフォルダAからダウンロードしたファイルは、パソコン上のダウンロードトレイのフォルダAに保存されます。
- 同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はダウンロードされません。

ファイルを再生する

1 フォルダを選ぶ

再生したいファイルが入っているフォルダを選びます。
図では取り込み済みのファイルを指定するため、音声フォルダウィンドウのフォルダAを選択しています。

2 ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウから再生したいファイルを選びます。
図では「DS710001.WMA」* ファイルが選択されています。

3 ファイルを再生する

再生コントロールバーの再生ボタン ▶ を押します。

その他の早戻し、早送り、停止、再生速度、音量、時間軸、インデックスマークスキップなどは、再生コントロールバーで操作できます。詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

* DS71 0001.WMA

- **拡張子：**本機で録音したファイルはWMA形式またはリニアPCM形式で、拡張子が.WMAまたは.WAVとなります。
- **ファイル番号：**本機が自動的につける連続した数字。
- **ユーザID：**本機に設定されたファイル名で初期値は[DS71], [DS61]または[DS51]となります。ユーザIDは変更可能です（☞ P122）。

ファイルを本機に転送する

DSS Player には、パソコンにあるファイルを本機に転送（アップロード）する機能があります。

1 フォルダを選ぶ

音声フォルダウィンドウから、転送したいファイルの入っているフォルダを選びます。

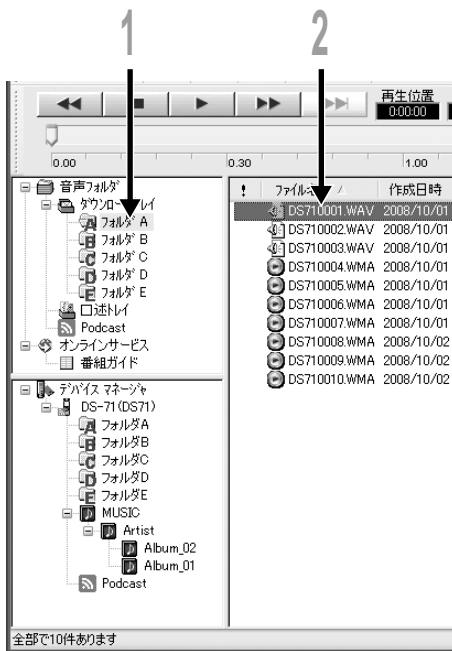
2 ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウから、転送したいファイルを選びます。

3 転送先フォルダを選ぶ

［転送］ メニューから ［ファイルのアップロード］ を選択、またはアップロードアイコンをクリックします。転送先フォルダ一覧のウィンドウが表示されたら、転送先フォルダを選んでください。

4 ファイルを転送する

ファイルが本機に転送されます。

5 アップロードの完了

通信中の画面が消え、本機の録音/再生表示ランプが消えたらアップロードの完了です。

音声ファイル一覧ウィンドウから転送したいファイルを選び、音声フォルダウィンドウのフォルダにドラッグ＆ドロップ (マウスの左ボタンを押したまま移動し、移動先でボタンを離す) して転送することもできます。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 本機のフォルダ内に同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はアップロードされません。

ファイルを E-mail で送信する

音声ファイルはハードディスク上の「Message」フォルダの中に保存されています。E-mail に添付して音声ファイル送信する場合には「Message」フォルダの中からファイルを選択してください。

「Message」フォルダの設定されている場所は、[ツール] メニューの [オプション] をクリックし、「ダウンロードフォルダ」の項目で確認できます。

メールの受信相手にDSS Player がなくても、DSS Player-Lite を使えばファイルを再生できます。DSS Player-Lite はオリンパスホームページ、http://www.olympus.co.jp から無償でダウンロードできます。

本機のユーザ ID を変更する

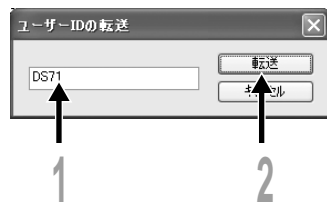
本機で録音される WMA 形式のファイル名には、自動的にユーザ ID がつけられます。

1 [ユーザIDの転送] 画面で、新たなIDを入力する

[転送] メニュー内にあります。

2 [転送] をクリックする

変更したユーザID名が本機に転送されます。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

フォルダ名を変更する

音声フォルダウィンドウのフォルダ名を変更する

[ファイル] メニューの [フォルダ名の変更] コマンドを使用することで、フォルダ名を変更できます。フォルダ名は20文字まで入力可能ですが、半角の¥/:*?"<>|は入力できません。

デバイスウィンドウのフォルダ名を変更する

変更するフォルダ名を右クリックし [フォルダ名の変更] を選択、フォルダ名を入力します。変更したフォルダ名は本機のフォルダ名に反映されます。

デバイスウィンドウのフォルダ名として使用できる文字は、半角記号を除いた大小半角英数字、全角カタカナ、ひらがな、漢字、全角記号で全角６文字（半角 12 文字）以内です。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

コメントを編集する

本機からダウンロードしたファイルに DSS Player 上でコメントをつけることができます。

「コメントの編集」画面は、[ツール] メニューから [コメントの編集] を選択してください。
入力できる文字数は全角50文字(半角100文字)以内です。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

テンプレートを編集する

本機に登録されているフォルダ名のテンプレートは、「テンプレートの編集と登録」画面から変更することができます。

[転送]メニューから[テンプレートの編集と登録]を選択してください。

使用できる文字は、半角記号を除いた大小半角英数字、全角カタカナ、ひらがな、漢字、全角記号で、入力できる最大文字数は全角4文字(半角8文字)です。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

音声ガイドデータをコピーする

本機を初期化して音声ガイドデータを本機から消去してしまったときは、DSS Playerから音声ガイドデータを本機にコピーすることができます。

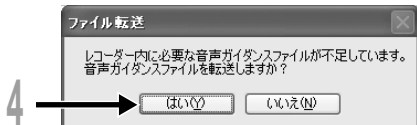
1 本機の音声ガイドが「ON」に設定されていることを確認する

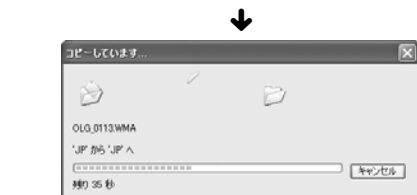
本機の音声ガイドが「OFF」に設定(☞ P95)されていると、音声ガイドデータはコピーされません。

2 本機をパソコンに接続する

接続方法は「パソコンに接続する」(☞ P112)をご覧ください。

3 DSS Playerを起動する

本機に音声ガイドデータが無い場合、「ファイルの転送」ダイアログが表示されます。

4 音声ガイドデータをコピーする

「ファイルの転送」ダイアログで[はい]ボタンをクリックすると、音声ガイドデータのコピーが始まり、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

5 音声ガイドデータのコピー完了

ご注意

- アラーム音（☞ P66）、電源をON/OFF （☞ P16）する際の起動音/終了音のデータも、音声ガイドデータと一緒にコピーされます。
- 録音/再生表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

USB マイク / スピーカとして使う

DSS Player では、本機を USB マイクや USB スピーカとして使用して、パソコンに取り込んだ音声ファイルに挿入 / 追加 / 上書き録音を行ったり、直接パソコンに新規の録音を行ったりすることができます。
またこの際に、本機のボタンで DSS Player の操作を行うことも可能です。

オーディオ設定

DSS Player で本機を USB マイクまたは USB スピーカとしてお使いいただくには、ストレージクラスでパソコンと接続後、オーディオクラスに切り替える必要があります。初めて切り替えた場合はドライバーがパソコンにインストールされます。
接続後、下記の設定を行ってください。

ツールバーの アイコンをクリックし本機を [オーディオ] に切り替える

USB スピーカとして使う

本機をUSBスピーカとして使用すると、パソコンに付属のスピーカから音声出力をさせずに、本機から音声出力させることができます。
USBスピーカとして使用する場合は、上記の「オーディオ設定」で本機を［オーディオ］に切り替え後、下記の設定を行ってください。

メニューバーの [ツール(T)] から「オーディオの選択」を選び、出力先を切り替える

USB マイクとして使う

本機をUSBマイクとして使用すると、DSS Playerで音声の録音が行えるほかに、音声認識ソフトやその他のアプリケーションでも、パソコンに音声を入力することができます。
本機をUSBマイクとして使用する場合は、前のページの「オーディオ設定」で本機を[オーディオ]に切り替え後、下記の設定を行ってください。

Windows 2000 の場合

［コントロールパネル］→［(サウンドと）マルチメディア］→［オーディオ］タグを選び、録音デバイスから［USB オーディオデバイス］を選択します。

Windows XP の場合

［コントロールパネル］→［サウンド、音声およびオーディオデバイス］→［サウンドとオーディオデバイス］→［オーディオ］タグを選び、録音デバイスから［Microphone Control (DVR)］を選択します。

ご注意

- 本機のメニュー設定でUSB クラスがオーディオクラスに設定されていると、本機をリムーバブルディスクドライブとして表示しません。ストレージクラスに設定し直してから、パソコンと接続してください。
- USB スピーカの切り替えは、USB マイクと同様に［コントロールパネル］からもできます。
- USB マイクとして使用する場合は本機の録音モードに関係なく、USB ステレオマイクとなります。本機に外部マイクを接続する場合は、ステレオマイクをご利用ください。

Plus アップグレード機能

「DSS Player」は、より高い機能を備えた「DSS Player Plus」へのアップグレード（有償）が可能です。「DSS Player」の機能に加え、音声認識ソフトを使っての音声認識や、ファイルの結合、ファイルの分割、本機のメニュー設定などがご利用いただけます。

ご購入およびアップグレードのしかた

「DSS Player Plus」を購入し、「DSS Player」からアップグレードするには、以下の手順で操作します。

1 DSS Playerを起動する

起動方法は☞ P113をご覧ください。

2 [Plus]ボタンをクリックするか、[ヘルプ]メニューの[DSS Player Plusの購入]を選択する

ウェブブラウザが起動し、DSS Player Plusの購入サイトが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
購入完了後、画面上またはメールによりライセンス番号が発行されます。

3 **[ヘルプ]メニューから、[DSS Player Plusへのアップグレード]を選択する**

[DSS Player Plusへのアップグレード]ダイアログが表示されます。

4 **[DSS Player Plusへのアップグレード]ダイアログに購入したライセンス番号を入力し、[OK]ボタンをクリックする**

次回起動時に、DSS Player Plusへのアップグレードが行われ、DSS Player Plusとしてご利用いただけます。

「DSS Player Plus」へのアップグレードを確認するには

メインメニューのタイトルがDSS Player Plusに変わります。または各ウィンドウのツールボタン内の［ヘルプ］メニューの［バージョン情報］を選択し、DSS Player Plusが表示されることを確認します。

ご注意

- ライセンス番号の購入には、インターネットが利用できる環境が必要です。ご利用できない場合はカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- ライセンス番号のご購入につきましては、ウェブサイト内の詳細をご覧ください。

Plus 音声認識ソフトを使う

市販されているNuance社の「ViaVoice」またはジャストシステム社の「Voice 一太郎」とあわせてお使いになると、本機で録音したファイルをパソコンに転送し、文字変換させることができます。詳細については音声認識ソフトの取扱説明書をご覧ください。

本機との対応が確認されている音声認識ソフトは下記のとおりです。（2008年9月現在）

Nuance社

- IBM ViaVoice for Windows,
  Pro/Premium V10またはPro/Premium V10.5 （Standard版ではご使用になれません）

ジャストシステム社

- Voice 一太郎 11

今後リリースされるソフトウェアの対応状況については、弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください（☞ P164）。
また、これらのソフトウェアを本機との組み合わせでご使用になる場合は、お使いのパソコンでの動作を各ソフトのメーカーにご確認ください。

- 音声認識ソフトViaVoiceに関するお問い合わせは、再発行元のNuance社にご連絡ください。
  http://japan.nuance.com/viavoice/
- Voice 一太郎に関するお問い合わせは、Voice 一太郎製品に同梱されているガイド「まずはじめにお読みください」にしたがって、株式会社ジャストシステムの窓口でサポートをお受けください。

オーディオセットアップ

DSS Player PlusとNuance社の音声認識ソフト「ViaVoice」を一緒にお使いいただく場合、スピーカや内蔵マイクから取り込まれる音声を正確に録音するために、以下の手順で設定を行ってください。

1 本機とパソコンを接続しDSS Player Plusを起動する

2 本機をオーディオクラスに切り替える

オーディオクラスへの切り替えについては ☞ P84をご覧ください。

3 [スタート]ボタンをクリックし、「プログラム]→[IBM ViaVoice VoiceCenter]の順に選ぶ

4 [IBM ViaVoice VoiceCenter]から、「ViaVoice] [ツール]を選択し、ViaVoiceユーザーウィザード画面を表示させる。

5 [デバイス]のリストボックスから、[DSSファイルの認識]または[WMAファイルの認識]を選択する

6 [次へ]ボタンをクリックする

オーディオセットアップウインドウが表示されます。

7 サウンドカードの選択

[サウンドカードの選択]画面が表示されたら[入力]に[USBオーディオデバイス]を選択し、画面の指示に従います。(XPでは[Microphone Control (DVR)]を選択します。)

8 画面の指示にしたがってオーディオセットアップを続けます。

オーディオセットアップやエンロール中に音声入力するときは、そのままの状態で本機から音声入力してください。

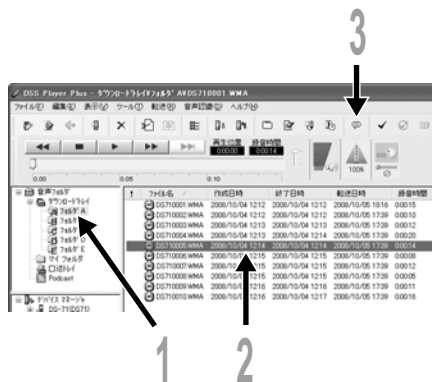
本機やファイルを使用して音声認識を行う前に、本機を使った環境のエンロールを行うことをおすすめします。これによりあなたの声の特徴が登録され、認識率を向上させることができます。

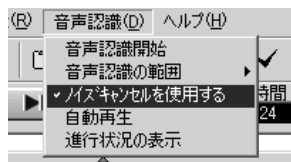
音声認識の実行

DSS Player Plusは、メニューからViaVoiceに簡単にアクセスすることができ、音声ファイル一覧ウィンドウにあるファイルの認識が可能です。

1 フォルダを選ぶ
音声フォルダウィンドウから、音声認識させたいフォルダを選びます。

2 音声ファイルを選ぶ
音声ファイル一覧ウィンドウから音声認識させたいファイルを選びます。

3 音声認識の開始
音声認識開始アイコン をクリックします。
音声認識ソフトのウインドウが表示され、音声認識が開始されます。

ノイズキャンセルについて

メニューバー［音声認識（D）］内にある［ノイズキャンセルを使用する］にチェックを入れることで、ノイズキャンセル機能を効かせた音質を音声認識ソフトに出力することができます。

ご注意

• LP モードで録音したファイルの音声認識はできません。

音声認識を目的とした録音について

本機を使用して、音声認識を目的とした録音をするときは、次のようなことに十分注意して録音してください。

- 本機のマイク感度スイッチを「口述」（☞ P35）にする
- 録音モード（☞ P32）を「LP」以外に設定する
- 音声起動録音（VCVA）モード（☞ P28）を「OFF」にする
- 音声認識ソフトに声を登録した1人の話し手が録音する
- 比較的静かな環境で録音する
- 本機の内蔵マイクと話し手の口を近づけて（5 ～ 10cm）録音する
- 一定の話しかたで録音する
- 周囲の雑音の影響を軽減してご自身の声を録音したい場合は、口述録音用マイクME12（☞ P40）を利用する

次のような条件で録音したファイルは認識率が低く、音声認識にはお使いいただけません。

- 複数の人の声が録音される、会議や座談会など
- まわりの雑音も録音されやすい、講演会や講義など

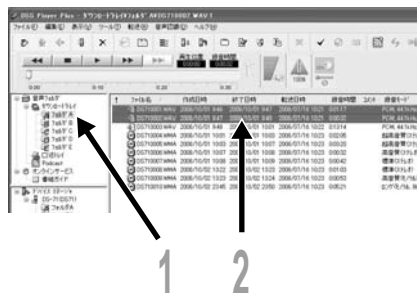
Plus ファイルを結合する

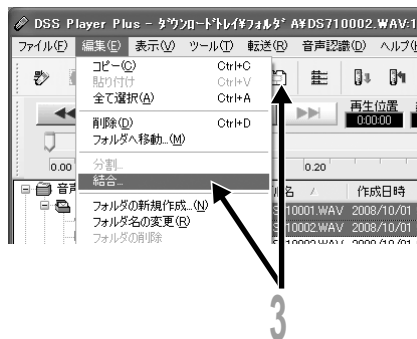
DSS Player Plus では、指定した複数の音声ファイルを結合して１つの音声ファイルを作成することができます。

1 フォルダを選ぶ

音声フォルダウィンドウから、結合したいファイルの入っているフォルダを選びます。

2 音声ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウから結合したいファイルを複数選びます。

3 [編集]メニューから[結合]を選択、または ボタンを押す

ファイルの結合ダイアログが表示され、手順2で選択したファイルを一覧表示します。

4 結合する順番を選ぶ

結合後の再生順序を変えることができます。ファイルを選択し、[上へ] [下へ] ボタンを押して、順序を入れ替えてください。

5 ファイル名を入力する

結合後のファイル名は自動生成しますが、任意で入力することも可能です。

6 [結合の実行] ボタンを押す

同一フォルダ内に手順5で指定したファイル名で保存されます。

ご注意

- 録音モードが異なるファイルを結合することはできません。
- 複数のファイルを結合する場合、ファイル・リストの先頭ファイルと同じ録音モードのファイルのみ結合されます。録音モードが異なり結合できないファイルはグレー表示されます。

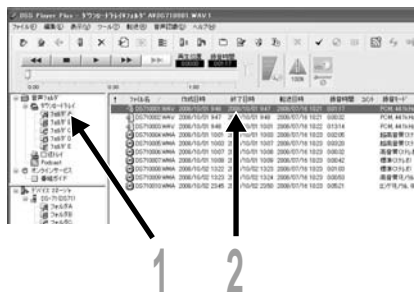
Plus ファイルを分割する

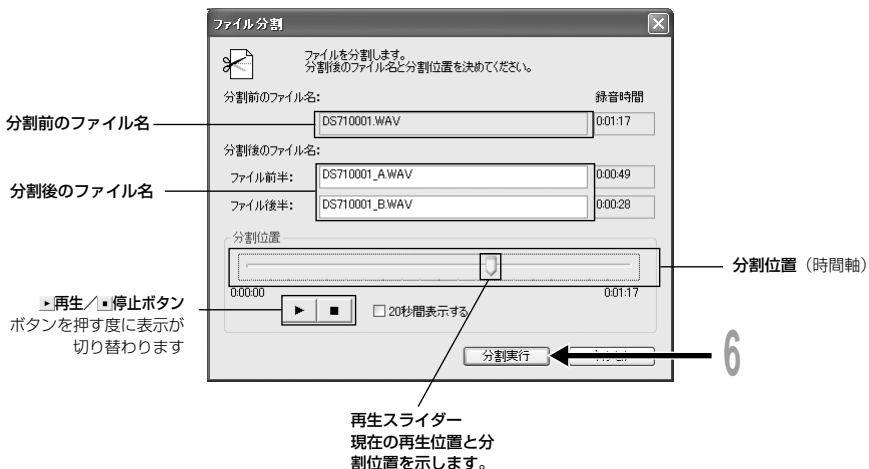
DSS Player Plusでは、指定した1つの音声ファイルを2つのファイルに分割することができます。

1 フォルダを選ぶ

音声フォルダウィンドウから、分割したいファイルの入っているフォルダ選びます。

2 音声ファイルを選ぶ

音声ファイル一覧ウィンドウから分割したいファイルを一つ選びます。

3 [編集]メニューから[分割]を選択、または ボタンを押す

ファイル分割の設定ダイアログが表示されます。

4 分割位置を設定する

▶ ボタンを押してファイルを再生し、分割したい位置で ■ ボタンを押します。
また、時間軸上での再生スライダーの位置は、現在の再生位置を示すとともに、分割位置を示しています（再生スライダーを左右にスライドさせて、分割したい位置へ移動させることも可能です）。

5 ファイル名を入力する

分割後のファイル名は自動生成しますが、任意で入力することも可能です。

6 [分割実行]ボタンを押す

ファイルの分割が完了し、手順5で指定したファイル名で保存されます。

Plus 本機のメニューを設定する

本機のメニュー設定をパソコン上の「レコーダーメニュー設定」画面で変更することができます。

1 [転送]メニューから[レコーダーメニュー設定]を選択する

レコーダーメニュー設定のダイアログ表示されます。

2 メニュー設定を行う

変更したいラジオボタンをクリックし、チェックを入れます。

3 [OK]ボタンを押す

設定内容が本機に転送されます。終了後、パソコンと本機のUSB接続を外すと、本機のメニュー設定が変更されます。

コンテンツを取り込んで楽しむ

Windows Media Playerを使って、語学CDやインターネットからパソコンに取り込んだ語学コンテンツや音楽ファイルを、本機に転送して再生することができます。
またDSS Playerを使って、インターネット上でPodcast配信されているコンテンツを取り込んで楽しむこともできます。
本機はWMA形式、MP3形式の語学コンテンツに対応しています。

Windows Media Playerを使って取り込む

- CDからパソコンに音楽ファイルや語学コンテンツをコピーする。
  ➡ 詳細は「CDから音楽をコピーする」（☞ P142）をご覧ください。
- パソコンにコピーした音楽ファイルや語学コンテンツを本機へ転送する。
  ➡ 詳細は「音楽ファイルを本機に転送する」（☞ P143）をご覧ください。

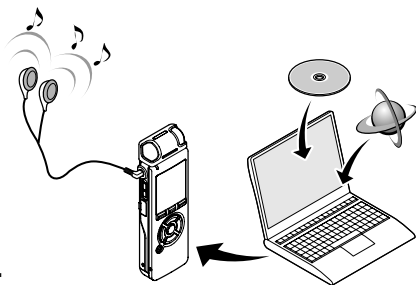
DSS Playerを使って取り込む

- インターネット上でPodcast配信されているコンテンツをパソコンに取り込む。
  ➡ 詳細は「Podcastコンテンツを取り込む」（☞ P146）をご覧ください。

本機でダイレクト録音する

他の機器と本機をつないで直接本機へ録音する。
➡ 詳細は「他の機器の音声を本機で録音する」（☞ P41）をご覧ください。

Windows Media Playerを使う

Windows Media Playerを用いると、音楽ＣＤから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P142）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送することができます（☞ P143）。

著作権と著作権保護機能(DRM)について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽CDなどの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的としたWMＡ やMP3ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。

WMA ファイルには著作権の保護を目的としたDRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRMが施されているファイルは音楽CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。DRM の施されたWMA ファイルを本機に転送するにはWindows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

ご注意

- 本機はMicrosoft Corporation のDRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

ウィンドウのなまえ(Windows Media Player)

Windows Media Player 11

① 機能タスクバー
② 位置スライダ
③ ランダム再生ボタン
④ 連続再生ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 前へボタン
⑦ 再生ボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ

Windows Media Player 10

① 機能タスクバー
② クイックアクセスパネルボタン
③ 位置スライダ
④ 巻き戻しボタン
⑤ 再生ボタン
⑥ 停止ボタン
⑦ 前へボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ
⑪ ランダム再生 / 連続再生ボタン
⑫ 早送りボタン

CDから音楽をコピーする

1 **CDをCD-ROMドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する**

2 **機能タスクバーから[取り込み]メニューをクリックする**

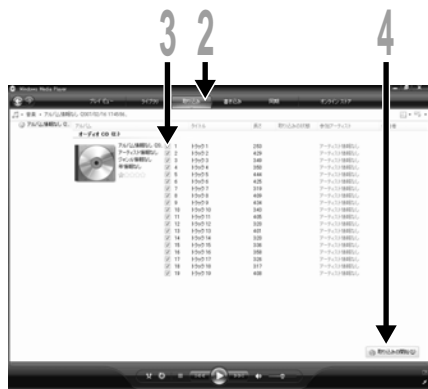
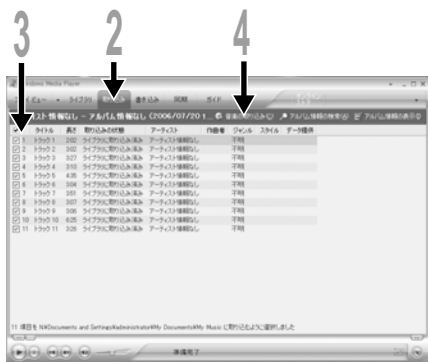
[取り込み]メニューをクリック後、Windows Media Player 10では必要に応じて[アルバム情報の表示]をクリックしてください。

インターネットに接続できる場合はCDの情報検索します。

3 **コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける**

4 **[取り込みの開始]をクリックする**

Windows Media Player 10では、[音楽の取り込み]をクリックします。

パソコンにコピーされたファイルはWMA形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

Windows Media Player 11

Windows Media Player 10

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は「CD から音楽をコピーする」をご覧ください (☞P142)。

Windows Media Player 11

1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから[同期]メニューをクリックする

3 再度[同期]メニューをクリックし、[DVR]→[詳細オプション]→[同期の設定]と選択した後、以下の設定を行う

[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックを入れます。*1 *2

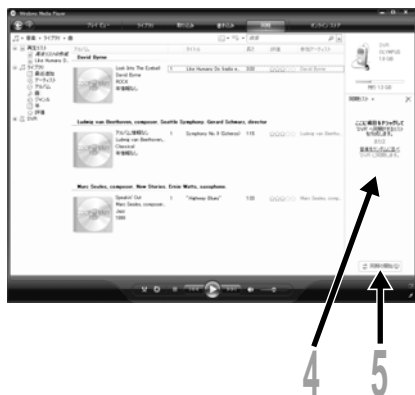
アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

*1 フォルダが自動作成されない場合があるので、[デバイスにフォルダ階層を作成する]に初期状態でチェックが入っているときは、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

*2 本機への同期転送後、WMPInfo.xmlという名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度*1の設定が必要になる場合があります。

4 左側の[ライブラリ]からお好みのカテゴリーを選択し、本機に転送したい曲、またはアルバムを選択したら、右側の[同期リスト]にドラッグ＆ドロップする

5 [同期の開始]をクリックする

ファイルが本機に転送されます。

Windows Media Player 10

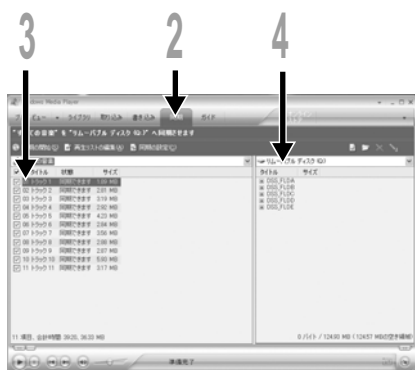
1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから[同期]メニューをクリックする

3 左側のプルダウンメニューから本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 右側のプルダウンメニューから本機に対応するドライブを選択する

通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 右上の をクリックして、同期オプションを設定する

[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックを入れます。*1 *2

アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

*1 フォルダが自動作成されない場合があるので、[デバイスにフォルダ階層を作成する]に初期状態でチェックが入っているときは、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

*2 本機への同期転送後、WMPInfo.xmlという名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度*1の設定が必要になる場合があります。

6 [同期の開始]をクリックする

ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows Media Player 9を使っての転送方法は、オリンパスホームページ・http://www.olympus.co.jp/をご覧ください。
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると、本機のディスプレイに「管理ファイルが作成できません。PCに接続して不要なファイルを消去してください」と表示される場合があります。その場合はファイルを消去して、管理ファイルの空き容量（数百KB～数十MB)を確保してください。(管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります。)

Podcastコンテンツを取り込む

DSS Playerにお気に入りの番組を登録することによって、自動的に新しいコンテンツをダウンロードすることができます。またパソコンに接続するだけで、新しいコンテンツを本機へ転送することができます。

Podcastの番組を登録する

1 DSS Playerを起動する

2 ウェブブラウザを起動し、Podcast配信サイトを表示する

3 Podcast登録用のアイコンをDSS Playerの[Podcast]フォルダへドラッグ&ドロップする

Podcast登録用のアイコンは各配信サイトによって異なります。詳しくは各配信サイトをご確認ください。

4 番組の登録完了

番組が登録されると、[Podcast]フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。

初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。

ご注意

• 本機では MP3、WMA 形式以外のコンテンツは再生できませんのでご注意ください。

番組を更新する

初期設定では、DSS Player に登録した番組は自動的に更新されます。番組の更新間隔は［ツール］→［オプション］を選択し、表示されたオプションダイアログのPodcastタブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞ P111）をご覧ください。

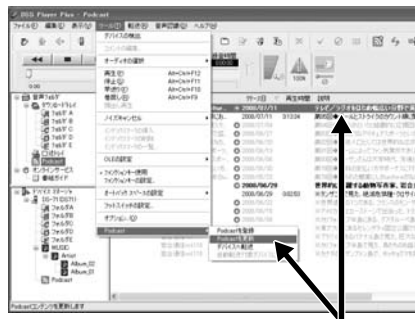
自動で番組を更新しない場合、以下の手順で番組を更新することができます。

1 [Podcast]フォルダを選ぶ

2 更新したい番組を選ぶ

3 [ツール]メニューから[Podcastを更新]を選択、またはボタンを押す

番組の更新を開始します。

番組が更新されると、新しいコンテンツがグレーで表示されます。グレーで表示されているコンテンツは、まだパソコンへダウンロードされていないことを表します。

コンテンツをダウンロードする

初期設定では番組を更新した際に新しいコンテンツがあった場合、最新のコンテンツを自動でダウンロードします。この設定は［ツール］→［オプション］を選択し、表示されたオプションダイアログのPodcastタブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞P111）をご覧ください。

手動でダウンロードを開始する場合、以下の手順でダウンロードすることができます。

1 [Podcast]フォルダを選ぶ

2 ダウンロードしたいコンテンツの[入手]ボタンをクリックする

コンテンツのダウンロードを開始します。コンテンツをダウンロードしている間は、進行状況がパーセンテージで表示されます。

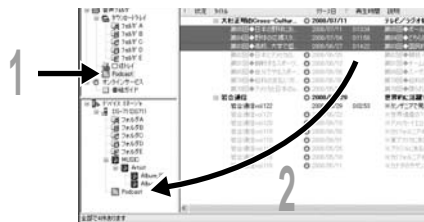
3 ダウンロードの完了

ダウンロードが完了したコンテンツは再生したり、レコーダーへ転送することができます。

コンテンツを本機へ転送する

初期設定では、本機をパソコンに接続すると、自動でコンテンツが本機の「Podcast」フォルダに転送されます。この設定は［ツール］→［オプション］を選択し、表示されたオプションダイアログのPodcastタブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ(☞P111)をご覧ください。

手動でコンテンツを転送する場合、以下の手順で転送することができます。

1 [Podcast]フォルダを選ぶ

2 転送したいコンテンツを選択し、本機の「Podcast」フォルダへドラッグ&ドロップする

コンテンツの転送を開始します。
コンテンツを転送している間は、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

3 転送の完了

本機へ転送したコンテンツには転送済みアイコンが表示されます。
本機のPodcastボタンを押すと、転送したファイルを簡単に開くことができます(☞ P21)。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

番組ガイド機能について

DSS PlayerにOlympus関連のPodcastの番組を簡単に登録することができ、自動的に新しいコンテンツをダウンロードすることができます。またパソコンに接続するだけで、新しいコンテンツを本機へ転送することができます。

番組を登録する

1 DSS Playerを起動する

2 音声フォルダウィンドウのオンラインサービスにある「番組ガイド」をクリックする

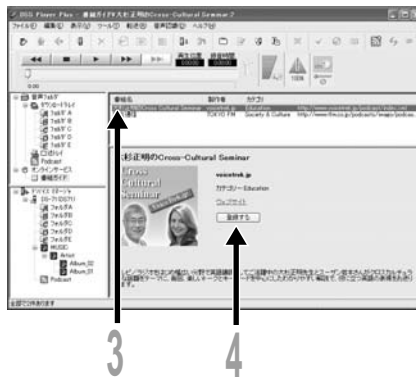
オンライン上に登録されている番組情報が表示されます。

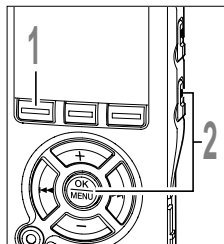
3 番組一覧からお好みの番組をクリックする

番組詳細ビューに番組の詳細情報が表示されます。

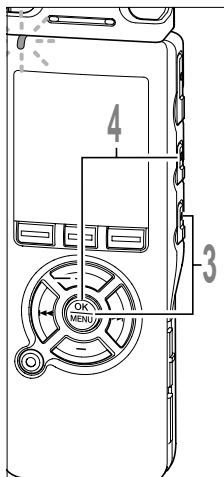
4 「登録する」をクリックしてPodcastに登録する。

番組が登録されると、[Podcast]フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。

初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。

ブックマークモードについて

本機に転送した「Music」フォルダにあるコンテンツファイルには、最後に再生を停止した位置を「Playback Position」として自動的に記憶するブックマークモードを搭載しています。お聞きのファイルの途中で本機を停止しても、ファイルに最後の停止位置を記憶するため、次に続けて聞くときは、最後に停止した位置から再生することができます。

1 「Music」フォルダ内から聞きたいコンテンツを選ぶ

2 **再生またはOKボタンを押して再生を開始する**

録音/再生表示ランプが緑色に点灯します。前に一度再生したことのあるファイルを再生すると、最後に停止した位置から再生します。

3 **停止またはOKボタンを押して再生を停止する**

再生していたファイルの途中で停止します。停止した位置をPlayback Positionとしてファイルに記憶します。

この状態で別のファイルを選んだり、他のフォルダに移動したり、本機の電源を切ったりした場合でも、次に同じファイルを再生すると最後に記憶されている位置から再生を開始します。

4 **途中まで聞いたコンテンツファイルの続きを再生する**

再生またはOKボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

早送りをするには

停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止しますが、Playback Positionは更新されません。再生または OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にテンプマーク（☞ P74）や Playback Position がついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと停止しますが、Playback Positionは更新されません。再生または OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にテンプマーク（☞ P74）や Playback Position がついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
- 先頭ファイルの開始位置で停止中に I◀◀ ボタンを押し続けると、最終ファイルの終わりから早戻しを行います。

ファイルの頭出しをするには

再生中、遅聞き、早聞き中に ▶▶I ボタンを押す。
➥ 次のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に I◀◀ ボタンを押す。
➥ 再生中のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に I◀◀ ボタンを 2 回押す。
➥ 1 つ前のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

- ファイルの途中にテンプマーク（☞ P74）がついているときは、その位置から再生します。
- スキップ間隔がファイルスキップ以外に設定されている場合（☞ P51）、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を始めます。

ファイルをスキップするには

停止中に ▶▶I ボタンを押す。
➥ 次のファイルの PlayBack Position へスキップします。

ファイルの先頭で停止中に I◀◀ ボタンを押す。
➥ 前のファイルの PlayBack Position へスキップします。

ファイルの途中で停止中に I◀◀ ボタンを押す。
➥ そのファイルの先頭へスキップします。

ご注意

- ブックマークモードは「Music」フォルダ内のファイルに対応します。
- コンテンツを本機で削除した場合は、Playback Position 情報も同時に削除されます。

パソコンの外部メモリとして使う

音声レコーダー、音楽プレーヤーとしての使いかたの他に、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存することが可能です。

たとえば、エクスプローラなどでパソコンのデータをコピーする

1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する

接続のしかたは、「パソコンに接続する」をご覧ください（☞ P112）。

3 エクスプローラを起動する

製品名が表示されます。

4 データをコピーする

データの読み書きやコピーなど、アクセス中は本機の録音/再生表示ランプが赤く点滅します。

5 パソコンから外す

取り外しかたは、「パソコンから外す」をご覧ください（☞ P113）。

ご注意

- 録音 / 再生表示ランプが赤く点滅中は、絶対にUSB 接続を外さないでください。データが破損する可能性があります。
- ストレージクラスであることを確認してください。オーディオクラスでは本機をリムーバブルディスクとして認識しません（☞ P84）。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池を交換してください（Battery Low）	電池残量がない。	新しい電池に交換してください。（☞ P14）
消去できません（File Protected）	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした。	消去ロックを解除してください。（☞ P76）
これ以上記録できません（インデックスマークをつけるとき）**（Index Full）**	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使っている。	必要のないインデックスマークを消去してください。（☞ P74）
これ以上設定できません（テンプマークをつけるとき）**（Temp Full）**	ファイル内でテンプマークを最大数（16）まで使っている。	必要のないテンプマークを消去してください。（☞ P74）
A～Eフォルダで録音してください（Illegal Folder）	「Music」フォルダで録音しようとした。	A～Eフォルダを選択し直して録音してください。（☞ P25）
これ以上記録できません（録音するとき）**（Folder Full）**	フォルダ内のファイル件数が最大数（200）になっている。	必要のないファイルを消去してください。（☞ P71）
メモリーに異常があります（Memory Error）	内蔵フラッシュメモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。（☞ P164）
不正コピーされたファイルです（License Mismatch）	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください。（☞ P71）
メモリーがいっぱいです（Memory Full）	フラッシュメモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください。（☞ P71）
ファイルがありません（No File）	フォルダ内にファイルがない。	フォルダを選び直してください。
初期化に失敗しました（Format Error）	初期化に問題があった。	メモリを再フォーマットしてください。（☞ P82）
管理ファイルが作成出来ません。PCに接続して不要なファイルを消去して下さい (Can't Make The System File.Connect To PC And Delete Unnecessary File)	フラッシュメモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続して、不要なファイルを消去してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ ⊖ を確かめてください。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。(☞ P14)
	電源が OFF になっている。	電源を入れてください。(☞ P16)
操作できない	電源が OFF になっている。	電源を入れてください。(☞ P16)
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください。(☞ P17)
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。(☞ P14)
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください。(☞ P71)
	ファイル番号が最大記録件数になっている。	別のフォルダを確認してみてください。
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンをはずしてください。
	音量が 0 になっている。	ボリュームを調節してください。(☞ P47)
消去できない	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください。(☞ P76)
	読み取り専用ファイルである。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	——
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯の近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてみてください。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください。
	マイク感度が低い。	マイク感度を「高感度」または「会議」にしてもう一度録音してみてください。(☞ P35)
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	録音レベルを調整してもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない	録音レベルを調整してもう一度録音してください。(☞ P33)
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整してもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
インデックスマーク・テンプマークがつけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください。(☞ P74)
	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください。(☞ P76)
	読み取り専用ファイルである。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
録音した音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	フォルダを切り替えてください。
設定した時刻に「タイマー録音」や「アラーム再生」がスタートしない	時計が合っていない。	「現在時刻」を確認し、合っていない場合は、日付・時刻を正しく設定し直してください。(☞ P19)
アラーム音や起動音 / 終了音、音声ガイドが使用できない	初期化などにより、データが消去された。	DSS Player を使ってデータを本機にコピーしてください。(☞P124) 音声ガイドデータをコピーすると、アラーム音と起動音 / 終了音のデータも一緒にコピーされます。
録音モニターでイヤホンからノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けない、録音モニターの音量を下げるなど調整をしてください。

アクセサリー(別売)

専用ステレオマイクロホン：ME55S

DS-71、61、51 専用のステレオマイクロホンです。DS-51 と同色のME55SSと、DS-61 と同色の ME55SA、DS-71 と同色の ME55SK の 3 種類があります。

ステレオマイクロホン：ME51SW

ステレオマイクロホンME51Sと延長コード、クリップのセットです。大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

高感度単一指向性モノラルマイクロホン：ME52

周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

単一指向性モノラルマイクロホン：ME12（口述録音用マイク）

周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（無指向性）：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

AC アダプタ：A324

国内専用の AC アダプタです。

単4形ニッケル水素充電池／充電器セット：BC400

ニッケル水素充電器 BU-400 と、単４形ニッケル水素充電池BR401の４本組セットです。オリンパス製の単３、単４形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

単４形ニッケル水素充電池：BR401

持続性に優れた高性能充電池です。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をマイク入力に接続して録音する場合に使用します。
モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

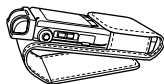
専用リモコン：RS29（DS-71、DS-61 に同梱）

DS-71、61、51 用の専用リモコンで、本機の録音 / 停止がリモート操作できます。
同梱のステレオマイクを接続すると、リモコンステレオマイクとしてご使用できます。

専用ケース：CS113（DS-61、DS-51 に同梱）

ケース背面にベルトを通せるループ付きで、開閉スムーズなマグネットホックを採用しています。

専用ケース：CS122（DS-71 に同梱）

DS-71、61、51 用の本革製専用ケースで、本体を衝撃や汚れからガードします。
ケース背面にベルトを通せるループ付きで、開閉スムーズなマグネットホックを採用しています。
本機のスタンドとしてもお使いいただけます。

用語の説明

用語	意味
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
メモリ	内蔵のフラッシュメモリのことを指します。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA（Windows Media Audio）、MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
サンプリングレート	１秒間あたりに処理できるデータの記録回数のことです。記録回数が多いほど周波数が高くなり、一般的には音質が良くなります。音楽用 CD では 44.1kHz で処理されています。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための機能（入れ物）です。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
テンプマーク	本機以外で作成されたファイル中に一時的に付けられる頭出し信号のことです。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
フォーマット	初期化とも言います。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。 接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

一般事項

記録媒体　内蔵型フラッシュメモリ
DS-71：4GB
DS-61：2GB
DS-51：1GB
記録形式　リニアPCM（Pulse Code Modulation)形式（DS-71）
WMA（Windows Media Audio）形式
規定入力レベル　－63dBv
サンプリング周波数　PCMモード:44.1kHz
ステレオXQモード: 44.1kHz
ステレオHQモード: 44.1kHz
ステレオSPモード: 22kHz
HQモード : 44.1kHz
SPモード : 22kHz
LPモード : 8kHz
総合周波数特性　PCMモード:50～20,000Hz
ステレオXQモード :
50～19,000Hz
ステレオHQモード :
50～16,000Hz
ステレオSPモード :
50～9,000Hz
HQモード : 50～13,000Hz
SPモード : 100～8,000Hz
LPモード : 100～3,000Hz
スピーカ　φ23mm丸型ダイナミックスピーカ内蔵
マイクジャック　φ3.5mm小型ジャック、インピーダンス 1.4kΩ
イヤホンジャック　φ3.5mm小型ジャック、インピーダンス 8Ω以上
スピーカ実用最大出力（DC3V）
250mW（スピーカ8Ω）
イヤホン最大出力　3mW＋3mW（22Ω負荷時）
時計精度　月差120秒以内
電源　定格電圧：3V
電池：単４形電池２本（LR03、R03またはZR03）
ニッケル水素充電池
外部電源：ACアダプタ
外形寸法　本体：96×37.5×16mm
マイク（ME55S）＋本体：
111×37.5×16mm
（最大突起部含まず）
質量　本体：73g
マイク（ME55S）＋本体：80g
（アルカリ電池含む）
同梱品　本体
単４形アルカリ乾電池×２
ステレオイヤホン (E34)
ステレオマイク（ME55S）
USB接続ケーブル
CD-ROM
取扱説明書（保証書付）
クイックマニュアル
リモートコントローラー（RS29）
（DS-71、DS-61に同梱）
専用ケース
（CS113：DS-61、DS-51に同梱）
（CS122：DS-71に同梱）

1ファイルあたりの最長録音時間	
PCM	約3時間20分
ステレオ XQ	約26時間40分
ステレオ HQ	約26時間40分
ステレオ SP	約53時間40分
HQ	約26時間40分
SP	約53時間40分
LP	約148時間40分

1ファイルあたりの最長録音時間は、各モードで定められています。本機にメモリ残量があっても、左記の時間を超える連続録音はできません。

＊ 本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

＊ 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池・使用条件により大きく変ります。

録音時間のめやす

録音モード＼モデル	DS-51（1GB）	DS-61（2GB）	DS-71（4GB）
PCM	——	——	約6時間10分
ステレオ XQ	約16時間20分	約33時間40分	約67時間40分
ステレオ HQ	約32時間50分	約67時間20分	約135時間20分
ステレオ SP	約65時間50分	約134時間50分	約270時間50分
HQ	約65時間50分	約134時間50分	約270時間50分
SP	約129時間40分	約265時間30分	約533時間10分
LP	約258時間00分	約528時間10分	約1060時間10分

小刻みに録音を繰り返した場合は、録音可能時間がこれより短くなることがあります。（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしておつかいください）

電池持続時間のめやす

● アルカリ乾電池

録音	
リニア PCM	約25時間
ステレオ XQ	約20時間
LP	約32時間

再生：スピーカ再生	
全モード	約20時間
再生：イヤホン再生	
全モード	約28時間

● ニッケル水素充電池パック

録音	
リニア PCM	約17時間
ステレオ XQ	約14時間
LP	約22時間

再生：スピーカ再生	
全モード	約13時間
再生：イヤホン再生	
全モード	約20時間

索引

アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。http://olympus-imaging.jp/ の「ユーザー登録」をご利用ください。

● **オリンパスホームページ**

http://www.olympus.co.jp ではICレコーダー（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは**

オリンパスカスタマーサポートセンター

Tel ：フリーダイヤル 0120 − 084215
携帯電話・PHS：042 − 642 − 7499
Fax：042 − 642 − 7486

※ カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせは**

お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ．本書のご提示がない場合。
   ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1年	無料	
品名	ボイストレック	型名	DS-51/DS-61/DS-71
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名			

J1-BZ8287-02
AP0808